

主要な施策の成果報告書

はじめに

平成が終わり新元号の幕開けとなった令和元年度は、新たな時代の到来と変革を象徴する年となりました。平成元年に3%で導入された消費税は、年金・医療・福祉への対応のため税率が10%に引き上げとなり、改めて社会構造の大きな変化を実感することとなりました。恵庭市においては、第5期恵庭市総合計画の第2次実施計画の初年度であり、「花・水・緑 人がつながり夢ふくらむまち えにわ」を将来都市像として、人口減少に負けない、住み続けたいまちを目指し、ついに本市の人口は7万人に到達しました。全国的に人口減少が進む中、掲げた施策を市民とともに着実に進めてきた成果であり、これからもSDGsやSociety5.0、新しい生活様式への転換といった時代の流れを適確に反映していくことが肝要であると考えます。

令和元年度予算では、厳しい財政事情にありながらも、ガーデンデザインプロジェクトをはじめとする第5期恵庭市総合計画や恵庭市総合戦略に掲げた様々な施策や事業を着実に進めるために、内部管理経費の見直しや、消費税の引上げ分について部の配分予算内で対応するなど、第6次行政改革推進計画の3つの柱に基づく取組みを行いながら「新しい時代に夢と希望がふくらむ2019年度予算」として、重点施策に次の5本の柱を掲げて編成いたしました。

- 1 災害に強くしなやかで安心して住み続けられるまちづくり
- 2 子ども達の未来を地域ぐるみで育むまちづくり
- 3 誰もが住み慣れたまちで健幸に暮らせるまちづくり
- 4 豊かな自然の恵みと都市の快適さを実感できるまちづくり
- 5 恵庭の強みと魅力を生かした活力あるまちづくり

決算を迎えるにあたり、市税や地方交付税の歳入が予算を上回ったものの、ごみ焼却施設の供用開始等、経常収支の確保については依然として大きな課題となっています。

次頁からは、これまでの行政目的の達成状況や今後の予算編成の参考とするため、令和元年度に実施した事務事業の主なものについて、総合計画に掲げる5つの基本目標ごとに分類した「主要な施策の成果報告書」としてまとめましたので報告いたします。

基本目標Ⅰ 市民による市民のためのまち

目標01 様々な担い手によるまちづくり

恵庭市まちづくり基本条例を基本とし、市民と行政が、それぞれの能力を生かし、役割分担をして課題の解決に取り組む「協働」のまちづくりを推進しました。

●まちづくり基本条例に基づく市民との協働の推進

各町内会や各種地域団体、ボランティア団体などとのネットワーク化に加え、緑と語らいの広場複合施設「えにあす」を新たな市民活動の拠点とし、市民主体の活動が行いやすい環境整備に努めるとともに、まちづくりやコミュニティ活動に取り組もうとする団体や市民に対しての支援策を進めました。また、地元産品や豊かな自然など恵庭市の魅力発信を強化し、ふるさと納税制度の推進に取り組みました。

・市民活動支援補助金 (P. 61～62)	2, 112千円
まちづくりチャレンジ協働事業補助金 (28団体 22事業)	1, 896千円
学生版まちづくりチャレンジ協働事業補助金 (5団体 5事業)	216千円

・市民活動センター推進事業 (P. 66)

市民活動団体の自主的かつ主体的な活動の総合的支援拠点である「市民活動センター」において、「NPO法人恵庭市市民活動センター運営協議会」とともに市民活動団体の活動支援を行いました。

令和2年3月31日現在会員数：165 (団体102 個人19 企業44)

機器貸出：252件 印刷利用：612件 ロッカー：8件

生活情報誌「ちゃんと」を活用した情報発信

・ふるさと納税推進事業 (P. 64～65) 391, 806千円

返礼品の拡充や全国的にふるさと納税の認知度が上がってきたこと、令和元年6月に行われたルール改正により、返礼品の取り扱いが厳格化されたことなどにより寄附が拡大し、恵庭の情報発信や地元産品の消費促進に繋がりました。

令和元年度ふるさと納税 41, 432件 寄附総額 773, 100千円

●地域コミュニティ活動・多世代交流の推進

・地域会館整備事業支援 (P. 61)

さかえ会館改修工事	4, 294千円
ゆたか会館解体工事	2, 277千円

・地域会館維持管理・自治活動支援 (P. 61)

地域会館維持管理費補助金	1, 380千円
会館借り上げ費補助金 (島松旭町、島松東町、恵央町、相生町、末広町)	1, 357千円
自治活動交付金	23, 809千円
地域会館整備補助金 (川沿町内会館改修工事)	4, 080千円
地域会館建物解体補助金 (春日北会館解体工事)	500千円

・「えにわ知恵ネット」事業 (P. 61～62)

登録団体数 103団体 (団体72 個人31)

・地域担当制の実施

平成28年度から3名の地域担当職員を配置し、地域と行政のパイプ役となり協働のまちづくりの推進に取り組みました。

- ・地域担当者会議
- ・生活環境改善要望（197件）
- ・地区町内会連合会役員会等への参加

・市制施行50周年記念事業（P.52）

1,896千円

2020年11月に市制施行50周年を迎えるにあたり、市制施行50周年記念事業実行委員会及び市民プロジェクトチームを設置し、基本指針及び実施計画を策定しました。また、記念キャッチフレーズやロゴマーク、記念グッズを作成したほか、インターネットを活用した情報発信を行うなど、50周年という大きな区切りにお祝いの機運醸成と恵庭市のさらなる発展に向け取り組みました。

- ・恵庭市市制施行50周年記念事業基本指針 平成31年4月策定
- ・恵庭市市制施行50周年記念事業実施計画 令和元年12月策定
- ・各委員会の開催状況
実行委員会 3回 推進委員会 3回
庁内PT 8回 市民PT 6回
- ・記念ロゴマーク
アンケート総数 6,132票（2,850票を獲得した記念ロゴマークに決定）
- ・記念キャッチフレーズ
応募総数 1,353件
- ・表彰式
日時：令和元年8月7日 最優秀作品1点、優秀作品17点を表彰

目標02 時代のニーズに沿った変革

限られた資源のなかで効率的な行政運営を行うため、市民の声を生かし、「選択と集中」を軸として、効率的な行政運営に努めました。

●事務事業の効率化と効果的な行政組織体制の構築

・行政評価による事務事業の大胆な見直し

第6次行政改革推進計画における目標「持続可能なまちづくりのための行政経営の実現」と位置づけ、「行政評価による事務事業の大胆な見直し」、「民間活力の活用（PPPの推進）」、「公共施設の有効活用（公共施設マネジメント）」の3本の柱に応じて施策を推進しました。

- ・行政評価による事務事業の大胆な見直し
過年度事務事業評価の進捗管理 14事業のうち8事業完了、進捗管理継続6事業
課・職員提案 全46事業のうち実施済35事業、検討中10事業、保留1事業
法定受託事務以外の事務事業 12事業のうち4事業重複、5事業完了、検討中3事業
- ・民間活力の活用（PPPの推進）
公民連携協働事業提案募集制度要領を作成し、ホームページで募集
本庁外4施設を民間活力活用の観点から評価
市民と職員の協働によるICT・業務改革推進プロジェクトを設置し、事業を省力化 1件
- ・公共施設の有効活用（公共施設マネジメント）
公共施設等総合管理計画の実施計画を策定（削減目標3%）し、計画の推進に努めました。
実施計画における公有財産面積 259,778.91㎡
削減面積の累計 3,492.68㎡（△1.344%）
令和元年度削減面積 △286.82㎡（ごみ焼却施設等）

・職員研修の充実

恵庭市人材育成プログラム検討委員会において、職員研修の具体的な取り組みやあり方について検討を行い、人材育成基本方針及び職員研修計画に基づき、行政評価による事務事業の見直し、行政の変革など地域課題への確に対応することができる人材の育成に努めました。また、他市との合同研修を新たに企画・実施したとともに、職員の指導能力の向上や適切な業務の遂行かつ継続性を図ることを目的に、OJT計画の試行を行いました。

- ・他市合同研修（プレゼンテーション研修、クレーム対応研修）
- ・一般研修（階層別研修外）
- ・特別研修（接遇研修、コンプライアンス研修、プレゼンテーション研修外）
- ・先進都市派遣研修

・広域共同事業の推進

平成30年度まで参画していた札幌広域圏組合の解散により、令和元年度から近隣12市町村で形成される「さっぽろ連携中枢都市圏」に参画し、広域的な連携事業を推進しました。また、千歳市と連携施策の充実拡大に関する覚書を締結し、より地域に根差した連携事業に取り組みました。

- ・さっぽろ連携中枢都市圏への参画事業数 51事業
- ・千歳市との連携事業数 41事業

●行政運営における市民意見の反映と「財政運営の基本指針」に基づく安定的な財政運営の確立

・市税・国保税コンビニ収納、クレジット納付の実施

令和元年度も引き続き市・道民税、固定資産税・都市計画税、軽自動車税、国民健康保険税の税目について、コンビニエンスストアでの収納を実施し、曜日や時間を問わない収納を行うとともに、平成28年度から開始したインターネットを利用したクレジットカード納付を普及推進し、更なる利便性の向上を図りました。

納期内納付率の推移

(納付件数/納税義務者数)

	市・道民税(普徴)		固定資産税		軽自動車税		国民健康保険税			
	H30	R01	H30	R01	H30	R01	H30		R01	
1期(6期)	70.6%	72.0%	80.3%	81.2%	78.2%	81.8%	76.7%	(81.3%)	76.7%	(80.2%)
2期(7期)	73.6%	72.1%	87.2%	87.2%			79.0%	(80.7%)	79.3%	(80.7%)
3期(8期)	73.6%	73.9%	83.6%	86.0%			80.9%	(82.2%)	79.8%	(82.5%)
4期(9期)	77.2%	78.6%	89.5%	90.0%			79.1%	(83.1%)	80.0%	(81.7%)
5期(10期)							82.9%	(83.6%)	81.9%	(84.6%)
期別計	73.7%	74.1%	85.2%	86.1%	78.2%	81.8%	80.9%		80.7%	
前年比	+0.4ポイント		+0.9ポイント		+3.6ポイント		△0.2ポイント			
コンビニ	38.3%	39.4%	19.0%	20.6%	45.9%	50.4%	19.8%		20.4%	
クレジット	1.7%	2.0%	1.0%	1.3%	1.8%	2.1%	0.4%		0.5%	

※コンビニ収納率及びクレジット納付率は税目毎の納期内納付総件数に対する割合

●公共施設の複合化による機能面の充実

・公共機能の移転・複合化事業

地域の特性を活かした賑わい創出、コンパクトシティ化を推進するため、市民活動センター、保健センター等の公共機能とスポーツクラブ、コンビニエンスストア、地域FM放送等の民間機能を併せた市民活動の新たな拠点「緑と語らいの広場（えにあす）」を平成30年4月より供用開始しています。

- ・貸部屋数13か所 来館者数325,895人 各室利用人数102,095人

目標03 とともに学びともに知る情報

市民ニーズを的確にとらえ、様々な媒体を活用し情報発信を行い、市民と行政が役割と責任を自覚し、お互いに情報を共有しながら透明性の高い開かれた行政運営に努めました。

●市民と行政との情報共有の推進

・広報えにわの充実 (P.57)

21,090千円

広報えにわ発行	392,652部	(月平均32,700部)
くらしのカレンダー	392,652部	(月平均32,700部)
生活便利帳	1,500部	
えにわめぐりマップ(転入者用)	1,500部	

・コミュニティFMラジオおよびメール配信の活用 (P.57)

6,777千円

恵庭市からのお知らせ	1日3回、週5回(閉庁日除く)	
恵庭市からのお知らせ	土曜日1回、日曜日1回、同日再放送1日3回	
恵庭タウンガイド	1日1回、週4回(閉庁日除く)	
市営駐車場PRラジオ	週3回	
みんなで地域防災	金曜日1回	
保健センターからのお知らせ	木曜日1回	
イベント放送(職員の声)	2回	
メール配信	月2回	

●開かれた行政運営の推進

市民要望や市民意識を把握するなど広聴活動の充実に努め、庁内及び関係機関との連携を強化し、安心して相談できる環境づくりを進めました。

市民の声(苦情・相談など)	28件	
弁護士法律相談	36回	205人
司法書士法律相談	4回	14人
人権委員・行政委員相談	2回	12人
総合行政相談	2回	7人
市長へのまちづくり提言	1通	

・市民の広場の実施

開催テーマ:	「みんなで地域防災」サブテーマ「胆振東部地震を振り返って」	
開催日:	7月11日	恵庭地区(和光、恵庭) 参加者34人
	7月22日	島松地区 参加者29人
	7月23日	恵み野地区 参加者18人
	7月24日	恵庭地区(柏、若草) 参加者32人

・パブリックコメントの推進

令和元年度パブリックコメント実施状況(7案件、4名、意見数17件)

・第5期恵庭市総合計画後期基本計画の策定に係る市民意識調査の実施

実施時期:	令和元年9月
対象:	16歳以上の市民を対象に2,000名を無作為抽出
回収方法:	郵送及びWEB回答
回収率:	39.3%

基本目標Ⅱ 誰もが健康で安全安心に暮らせるまち

目標04 災害に強い地域防災力

大規模災害に備えて平常時から市民の防災意識の高揚を図るとともに「自助・共助・公助」による協働の仕組みづくりの推進に努めました。

●防災意識の普及、推進

防災訓練や防災教育を推進するとともに、防災設備の点検・整備に努め、緊急時に対応できる体制の確保に努めました。

・地域防災計画・国民保護計画の推進 (P.149～150)

災害時における警察・消防・町内会等の避難支援等関係者への提供を目的に、避難行動要支援者名簿を更新しました。また、防災組織づくりのための出前講座や学習会を実施するなど、市民啓発活動を積極的に実施しました。

- ・出前講座の実施 31回開催、延べ801人参加
- ・防災学習会の実施（島松小学校にて開催） 100人参加
- ・避難行動要支援者名簿の更新 平常時名簿 539名、災害時名簿1,476名
- ・総合防災訓練の実施（桜町多目的広場等で開催） 参加者7,686名 参加団体106団体

・自主防災組織等活動支援助成金 (P.150) 1,574千円

地域防災力の向上を図り、災害に強いまちづくりを推進するため、自主防災組織の活動、新規設立に対し、その経費の一部を助成しました。

- ・令和元年度末 自主防災組織 40組織（昨年度末39組織）

・地域防災マスターの育成 (P.149)

自主防災組織の組織率向上や既存組織の活性化、地域防災計画の浸透を目的に「恵庭市地域防災マスター」の研修会を実施し、地域の防災リーダーの育成に努めました。

- ・延べ参加者114名（夢創館、市民会館、えにあず、恵み野会館）

・災害用物資備蓄品整備事業 (P.149～150) 13,173千円

大規模災害時を想定した「恵庭市災害用物資備蓄計画」に基づき、緊急時の生活用品等の備蓄を計画的に進めました。

- ・ポータブルストーブ12台、ラジオ50台、発電機10台、簡易トイレ8,700個等

●防災情報の的確な発信

災害時において的確に防災情報を発信できる体制を確保するため、防災行政無線の更新整備等を実施し、地域防災力の強化を図りました。

・防災行政無線更新整備事業 (P.51) 2,970千円

基本設計委託業務

●耐震改修の推進

・恵庭市耐震改修促進計画の推進 (P.138)

- ・平成22年度「木造住宅耐震診断・耐震改修助成」開始
令和元年度実績：診断 4件、改修 3件

目標05 支えあう消防救急体制

複雑多様化する災害事象や救急需要に迅速かつ的確に対応し、住民の生命、身体、財産を災害から守るため、持てる施設、装備、人員を最大限に活用し、安全・安心なまちづくりに努めました。

●消防体制の充実

災害による被害の軽減を図るため、消防団の充実、活性化を推進し、消防施設、消防車両、資器材などを整備することにより、消防救急体制の充実強化に努めました。

・消防施設などの整備・更新 (P. 148～149)

- ・消火栓更新整備事業 20基 10,880千円
- ・はしご付消防ポンプ車更新整備事業 1台 29,173千円 (令和元年度分)
*リース期間 平成29年2月1日～令和9年1月31日
- ・消防団資器材整備事業 一式 1,252千円
- ・消防用資器材整備事業 一式 2,733千円
- ・学生消防サポーター制度 令和元年度 88名登録

・メディカルコントロール体制の充実 (P. 146)

- ・気管挿管実習2名 (修了者現在計16名)
- ・薬剤投与救命士認定者数1名 (認定者現在計28名)
- ・気管挿管救命士再認定講習2名 (修了者現在計10名)
- ・ビデオ硬性挿管用喉頭鏡気管挿管救命士認定講習1名 (修了者現在計21名)
- ・ビデオ硬性挿管用喉頭鏡気管挿管救命士実習2名 (修了者現在計8名)

・応急手当普及啓発活動の強化推進 (P. 146・148)

- ・AED (自動体外式除細動器) トレーナーを活用する等の救急救命講習会の実施
開催状況 上級 (3回・35人) 普通 (21回・333人) 一般 (34回・1,146人)
救命入門 (19回・655人)
- ・AED設置施設表示証交付状況
表示証交付施設数 (R1年度末) : 150施設
- ・救急車適正利用ステッカー配布状況
配布施設数 (R1年度末) : 50施設

●防火団体の育成

市民一人ひとりの防火意識を高め、住宅用火災警報器の普及推進を図るとともに、防火対象物における消防設備の維持管理と違反是正対策を強化するなど、防火安全対策を推進しました。

・住宅用火災警報器の設置推進

- ・令和元年度末設置率 : 78.0% (昨年度末78.0%)
- ・推進活動 : 出前講座5回、訪問指導26回の計31回実施

目標06 安全安心の日常生活

地域ぐるみで、交通事故・犯罪のない安全で安心して暮らせるまちづくりを進め、消費生活知識の普及啓発や、無料法律相談を実施しました。

●交通安全・防犯活動の推進

地域や関係団体と警察署が連携をとりながら、防犯灯の設置など環境の整備や広報啓発活動を通じた市民一人ひとりの交通安全及び防犯意識の高揚を図り、市民と協働による安全安心なまちづくりを進めました。

・自主防犯活動の促進 (P. 60)

1) 地域安全ニュースの発行

市内で発生した犯罪等を記載した啓発紙を毎月発行し、市民の防犯意識の高揚を図りました。

2) 歳末地域安全運動及び歳末警戒巡回パトロールの実施

・令和元年12月18日：市内の飲食店街に啓発物品を配布する夜間巡回パトロールを実施

・防犯灯等の設置状況 (P. 60)

778千円

令和元年度新設設置状況 防犯灯 26箇所

・振込め詐欺防止対策の実施

振込め詐欺被害を受け、地区防犯協会と合同により防止対策活動を実施

市内販売店、コンビニ、金融機関等に啓発ポスターを掲示

・交通安全啓発活動の実施 (P. 58~59)

1) 人身事故発生状況(各年12月末現在) (人)

区分 年	発生件数	負傷者	死者
R01年度	120	147	1
H30年度	81	92	1
比較	39	55	0

2) 交通安全啓発事業

- ・交通安全警戒・注意等の看板の設置 12基
- ・交通安全旗の掲揚及び配布 (309枚)
- ・交通安全運動の実施 4期(4月・7月・9月・11月) 40日
- ・交通事故抑止市民大会 令和元年5月11日 約350人参加
- ・自転車マナー啓発の実施 恵庭駅1回、恵み野駅1回、恵庭北高校1回
- ・交通安全教室の開催 (人)

区分	幼稚園・保育園	小学校	老人クラブ	町内会等	合計
回数	59	48	3	3	113
参加人員	4,958	3,797	101	69	8,925

- ・交通公園利用実績 団体利用1,802人、個人利用6,549人

3) 交通指導員の活動

- ・交通安全指導員 (11名)
4期40日の交通安全運動期間中における街頭指導並びに交通安全啓発活動の実施
- ・交通安全児童指導員 (4月~9名、8月~8名、1月~7名)
市内各小学校の登下校時の街頭指導及びこぐまクラブ・小学校・町内会等で交通安全教室開催

・交通安全対策交付金事業 (P.141)

・区画線塗布工事 10,000千円

区 分	中心線(m)	外側線(m)	ドット線(m)	路面表示(m)
R01年度	24,377	32,203	1,061	704
H30年度	24,526	30,834	1,065	1,148
比 較	△ 149	1,369	△ 4	△ 444

●消費生活相談事業の推進

悪質かつ巧妙化する消費トラブル等に迅速、的確に対応するため、消費生活相談員の配置や出前講座、消費者生活協会と連携し消費生活展を開催するなど消費者の保護及び被害の未然防止に取り組みました。

・消費生活相談及び小売価格調査等の実施 (P.61)

7,355千円

消費生活相談業務

相談員 5名 (令和2年3月31日現在)

毎週月曜日～金曜日 (10時～17時)

区 分	R01年度	H30年度	増減
相談件数	405	362	43

(相談内訳：件)

区 分	契約・金銭トラブル	サイト登録等	勧誘・販売方法等	架空請求	問合せ	その他	計
件 数	69	31	153	39	22	91	405

消費者出前講座

講 座 内 容	回 数	人 数
児童、高齢者等消費者教育について ほか	10回	222人

1) 恵庭消費生活展

開 催 日：令和元年8月24日 来場者数 約450人

2) 小売価格調査事業(灯油・ガソリン・軽油・LPガス)

調査回数：毎月1回

調査地区：17店舗

3) 試買量目調査の実施状況

実施回数：年1回

調査品目：生鮮食料品 6品目

調査地区：9店舗

4) 消費者被害防止セミナー

開 催 日：令和2年1月31日 参加者数 22人

・無料法律相談の実施 (P.57 目標3に別掲)

1,373千円

弁護士法律相談 36回 205人

司法書士法律相談 4回 14人

目標07 助け合いのちを大切にすまち

市民一人ひとりの人権が尊重され、住み慣れた地域で安心して暮らせる地域社会の実現をめざし、市民一人ひとりが人権尊重についての理解を深め、自立した生活ができるように支援を推進しました。

●発達に心配のあるまたは障がいのある子どもの早期発見、早期支援の推進 (P. 87・94～96)

・児童通所支援等福祉サービス

区 分	児童発達支援事業			放課後等デイサービス事業			保育所等訪問支援事業		
	利用回数	実人員	金額(千円)	利用回数	実人員	金額(千円)	利用回数	実人員	金額(千円)
R01年度	6,143	129	40,930	17,249	146	180,016	47	6	465
H30年度	5,130	106	28,186	15,925	130	155,108	26	3	431
比 較	1,013	23	12,744	1,324	16	24,908	21	3	34

区 分	医療型児童発達支援事業			短期入所事業			居宅介護事業		
	利用回数	実人員	金額(千円)	利用回数	実人員	金額(千円)	利用時間	実人員	金額(千円)
R01年度	0	0	0	374	17	5,938	556	6	3,913
H30年度	0	0	0	442	13	4,595	620	7	3,589
比 較	0	0	0	△ 68	4	1,343	△ 64	△ 1	324

・地域生活支援事業

区 分	移動支援事業			日中一時支援事業(重度入浴型)			訪問入浴サービス支援事業		
	利用回数	実人員	金額(千円)	利用回数	実人員	金額(千円)	利用回数	実人員	金額(千円)
R01年度	866	9	3,863	93(211)	11(6)	97(2,556)	22	1	298
H30年度	1,064	10	4,708	77(233)	6(6)	103(2,960)	27	1	310
比 較	△ 198	△ 1	△ 845	16(△22)	5(0)	△6△404)	△ 5	0	△ 12

・子ども発達支援センター事業

区 分	障がい児通所支援			市町村子ども発達支援センター事業					
	児童発達支援	放課後等 デイサービス	保育所等 訪問支援	センター 基本相談	乳幼児健診		乳幼児発達 支援教室	巡回発達 相談	
					1歳6ヵ月 健診	3歳児 健診			
R01年度	4,826	377	47	95	39	38	109	36	
H30年度	4,685	581	46	107	29	40	82	16	
比 較	141	△ 204	1	△ 12	10	△ 2	27	20	

区 分	相談支援事業		社会生活 支援	小児神経医 による 発達相談	合 計
	障害児 相談支援	特定 相談支援			
R01年度	718	99	16	34	6,434
H30年度	583	79	35	33	6,316
比 較	135	20	△ 19	1	118

・在宅支援サービスの状況

1) 身体障がい者居宅生活支援

区 分	ホームヘルプ事業			日中一時支援事業（ケア型）			短期入所事業		
	利用時間	実人員	金額(千円)	利用日数	実人員	金額(千円)	利用日数	実人員	金額(千円)
R01年度	5,032.5	27	24,348	0	0	0	89	2	2,361
H30年度	4,406.3	25	20,272	0	0	0	77	1	2,038
比 較	626.2	2	4,076	0	0	0	12	1	323

2) 知的障がい者居宅生活支援

区 分	ホームヘルプ事業			短期入所事業		
	利用時間	実人員	金額(千円)	利用日数	実人員	金額(千円)
R01年度	1,097.5	13	5,403	1,682	17	12,045
H30年度	771.0	14	3,086	1,382	17	9,765
比 較	326.5	△ 1	2,317	300	0	2,280

3) 地域生活支援事業

区 分	移動支援事業			日中一時支援事業		
	利用回数	実人員	金額(千円)	利用回数	実人員	金額(千円)
R01年度	492	42	2,644	118	20	248
H30年度	524	42	3,223	129	20	297
比 較	△ 32	0	△ 579	△ 11	0	△ 49

・相談支援体制

恵庭市障がい者総合相談支援センター「e-ふらっと」

区 分		身体	知的	精神	重度心身	発達	高次脳機能	難病等・その他	障がいの重複分	総計
R01年度	相談実件数	383	1,289	890	8	215	32	143	457	2,503
	相談延件数	1,747	4,793	3,086	23	780	87	364	1,970	8,910
H30年度	相談実件数	331	1,209	724	7	125	30	140	406	2,160
	相談延件数	1,279	4,228	2,737	23	378	150	416	1,352	7,859
比 較	相談実件数	52	80	166	1	90	2	3	51	343
	相談延件数	468	565	349	0	402	△ 63	△ 52	618	1,051

・老人憩の家利用状況

区 分	利用者数	開館日数	1日利用者数
福 住	3,631	266	14
和 光	9,286	272	34
大 町	7,522	266	28
柏 陽	12,094	277	44
恵み野	17,865	277	64
島 松	16,535	280	59
東恵庭	1,557	271	6
合 計	68,490	1,909	36

- ・介護保険施設等高齢者対策推進事業 対象者 343人(75歳以上) 1人1,300円
- ・老人健康ハイキング 令和元年6月19日・20日 323人
- ・老人クラブ運営事業の推進 単位老人クラブ運営費補助 32クラブ 2,479千円
- ・敬老祝品贈呈事業
77歳 700人、100歳 19人 計3,223千円
- ・福祉バスの運行 運行日数 204日 利用者数 7,389人

・精神保健福祉自立支援給付事業の実施

区分	居宅介護		生活介護		短期入所		サービス計画	
	実利用人員	延利用日数	実利用人員	延利用日数	実利用人員	延利用日数	実利用人員	延利用日数
R01年度	6	442	3	201	1	30	26	317
H30年度	6	460	2	161	1	39	24	293
比較	0	△ 18	1	40	0	△ 9	2	24

区分	地域移行支援		共同生活援助		宿泊型自立訓練		自立・生活訓練	
	実利用人員	延利用日数	実利用人員	延利用日数	実利用人員	延利用日数	実利用人員	延利用日数
R01年度	0	0	18	4,927	5	1,628	5	947
H30年度	0	0	15	4,332	5	1,548	5	890
比較	0	0	3	595	0	80	0	57

区分	就労継続A※		就労継続B※		就労移行※	
	実利用人員	延利用日数	実利用人員	延利用日数	実利用人員	延利用日数
R01年度	35	7,123	66	9,912	9	1,312
H30年度	31	6,586	64	9,627	8	1,256
比較	4	537	2	285	1	56

※就労継続A：雇成型、就労継続B：非雇成型、就労移行：一般就労を目的とした訓練

※実利用人数：生活介護9月時点、地域移行支援5月時点、その他は2月時点

・精神障害者地域活動支援センター等通所交通費助成

区分	実人員	通所施設数	助成日数
R01年度	18	17	2,146
H30年度	18	15	2,496
比較	0	2	△ 350

・相談指導体制の充実

普及啓発（講演会、講座、学習会等）

区分	回数	延参加数
R01年度	7	72
H30年度	5	62
比較	2	10

相談

区分	来所・電話・メール 延相談数	訪問数（実／延）
R01年度	160	5 / 20
H30年度	160	7 / 20
比較	0	△ 2 / 0

・生活保護の状況（年度末）

区 分	保護世帯数	保護者数
R01年度	751	982
H30年度	720	946
比 較	31	36

区 分	R O 1 年 度		H 3 0 年 度		比 較	
	世帯人員	金額（千円）	世帯人員	金額（千円）	世帯人員	金額（千円）
生活扶助	10,845	433,730	10,051	445,313	794	△ 11,583
住宅扶助	10,967	191,778	10,145	187,685	822	4,093
教育扶助	1,685	5,136	733	6,821	952	△ 1,685
介護扶助	2,349	24,600	2,051	23,812	298	788
医療扶助	10,924	811,642	10,019	858,645	905	△ 47,003
生業扶助	477	4,876	493	6,806	△ 16	△ 1,930
葬祭扶助	9	1,843	9	3,104	-	△ 1,261
出産扶助	-	-	-	-	-	-
施設事務費	1	23	3	570	△ 2	△ 547
就労自立給付金	6	327	6	481	-	△ 154
進学準備給付金	3	1,200	6	1,000	△ 3	200
合 計	37,266	1,475,155	33,516	1,534,237	3,750	△ 59,082

●男女がともに安心して暮らせるまちづくりの推進

・男女共同参画推進事業の支援（P.71） 686千円

令和元年度啓発事業実績

- ・男女共同参画フォーラム
 - 講話：男女共同参画に係るアンガーマネジメントについて
 - パネル展示：男女共同参画推進週間における啓発パネル及び関係団体活動紹介パネルの展示
 - 令和元年12月7日開催（共催：女性ネットワークえにわ）
- ・男女共同参画事業のパネル展を実施
 - 男女共同参画推進週間（6月 恵庭駅西口空中歩廊）
 - 女性に対する暴力をなくす運動（11月 恵庭駅西口空中歩廊）
- ・啓発用ポスターの掲示、パンフレット等の配布（市主催各行事、成人式等）
- ・フェイスブックを活用した周知活動
- ・情報紙「さくらんぼ」の発行 3月 1,500部
- ・地域FM放送による情報発信 11回（月1回）
- ・キャッチフレーズ募集事業

市内中学校より男女共同参画キャッチフレーズを募集し、若年層に対する普及啓発を図るとともに、採用したキャッチフレーズを恵庭市の各事業において活用することにより市民の意識の醸成に努めました。

恵庭市男女共同参画推進協議会設立

男女共同参画の更なる推進を図るため、家庭や学校、職場などの地域と行政が連携し、共同で男女共同参画を進める「恵庭市男女共同参画推進協議会」を令和元年6月に設立いたしました。

目標08 夢と健康を育むまち

子どもから高齢者まで日々健やかに暮らせるまちの実現を図り、ライフステージに合わせた健康づくりや生活習慣病の予防、改善、予防接種や検診事業などの支援を推進しました。

●健康づくり計画・食育推進計画の推進及び啓発（P. 108～111・233～235）

・健康教育・健康相談事業の充実

区 分	健康増進事業		出前講座等		ノルディックウォーキング講習会		高齢者健康教育事業	
	回数	参加数	回数	参加数	回数	延人員	回数	延人員
R01年度	11	261	57	2,173	4	37	2	112
H30年度	8	300	54	1,306	4	44	3	87
比 較	3	△ 39	3	867	0	△ 7	△ 1	25

・歩くことを通したまちづくり事業の実施

区 分	参加数
R01年度	4,837
H30年度	4,139
比 較	698

・食育推進事業の推進

区 分	食育講座・講話		講演会		食育推進協議会回数	食育展示回数
	回数	参加数	回数	参加数		
R01年度	6	52	1	49	2	4
H30年度	7	145	1	41	2	4
比 較	△ 1	△ 93	0	8	0	0

・歯科口腔保健普及啓発事業

区 分	歯科医師健口教室	
	回数	人数
R01年度	4	135
H30年度	4	149
比 較	0	△ 14

・高齢者介護予防事業の実施

区 分	短期集中予防事業				介護予防把握事業			
	通所型		訪問型		訪問相談		頭元気度	
	回数	延人数	回数	延人数	実人員	延人員	回数	延人員
R01年度	19	145	0	0	419	466	-	-
H30年度	15	162	4	12	578	625	4	22
比 較	4	△ 17	△ 4	△ 12	△ 159	△ 159	△ 4	△ 22

※「あたまの元気度相談」は平成30年度の認知症初期集中支援チームの創設に伴い事業廃止

区 分	介護予防普及啓発事業						地域介護予防活動支援事業			
	講演会		高齢者健康教室		老人クラブ健康教育		サポーター養成講座		地域支援・講演会	
	回数	人員	回数	延人員	回数	人員	回数	延人員	回数	延人員
R01年度	2	250	4	55	31	697	12	124	26	386
H30年度	2	217	4	56	33	984	14	102	46	924
比 較	0	33	0	△ 1	△ 2	△ 287	△ 2	22	△ 20	△ 538

●予防接種・健康診査・がん検診の推進 (P. 108・110～112)

・エキノコックス症予防対策事業

区 分	受診数	擬陽性	陽性	中止
R01年度	44	0	0	0
H30年度	68	0	0	0
比 較	△ 24	0	0	0

・予防接種事業

区 分	BCG接種	四種混合	不活化 ポリオ	二種混合 (11～13歳未満)	麻しん	風しん	混合 (麻風しん)	ヒブ
R01年度	433	1,741	4	539	0	0	994	1,700
H30年度	456	1,834	6	526	0	0	1,024	1,788
比 較	△ 23	△ 93	△ 2	13	0	0	△ 30	△ 88

区 分	小児用 肺炎球菌	子宮頸 がん	水痘	日本 脳炎	B型肝炎	インフルエンザ	肺炎球菌 (定期)	風しんの追加的対策	
								抗体検査	予防接種
R01年度	1,714	1	859	3,529	1,266	9,201	554	814	147
H30年度	1,794	0	925	3,756	1,298	8,509	1,897	—	—
比 較	△ 80	1	△ 66	△ 227	△ 32	692	△ 1,343	皆増	皆増

○日本脳炎はH28.4より実施 ○B型肝炎はH28.10より実施

○風しんの追加的対策はH31.4より実施

・健康診査事業・各種がん検診事業の充実

区 分	健康診査・保健指導		肝炎ウイルス検診		
	受診者数	保健指導数	受診者数	C型陽性	B型陽性
R01年度	70	3	534	0	7
H30年度	74	3	429	0	7
比 較	△ 4	0	105	0	0

○「要精検」「発見がん」の件数

については、平成30年度は実績
値、令和元年度は令和2年5月末現在

○子宮がん検診は、頸部・体部

※がん検診推進事業分含む

区 分	胃がん検診			大腸がん検診			肺がん・結核検診		
	受診者数	要精検	発見がん	受診者数	要精検	発見がん	受診者数	要精検	発見がん
R01年度	2,076	145	4	2,707	245	3	2,310	99	0
H30年度	2,079	159	8	2,589	204	8	2,289	96	1
比 較	△ 3	△ 14	△ 4	118	41	△ 5	21	3	△ 1

区 分	子宮がん検診 ※			乳がん検診 ※			成人歯科健診・相談			
	受診者数	要精検	発見がん	受診者数	要精検	発見がん	回数	受診数	要指導	要医療
R01年度	1,030	40	1	1,245	43	9	8	141	7	80
H30年度	941	17	0	1,073	40	5	8	188	5	104
比 較	89	23	1	172	3	4	0	△ 47	2	△ 24

・妊婦健康診査費用の助成

区 分	妊婦健康診査受診票		妊婦一般健診 助成数	超音波検査 助成数
	交付人数	助成総数		
R01年度	632	6,770	4,798	1,972
H30年度	674	7,136	5,026	2,110
比 較	△ 42	△ 366	△ 228	△ 138

・妊婦にやさしい環境づくり事業（マタニティマークストラップ）

区 分	配布数
R01年度	405
H30年度	430
比 較	△ 25

・特定不妊治療費用の助成

区 分	件数
R01年度	49
H30年度	52
比 較	△ 3

・乳幼児育児支援事業の実施

区 分	訪問指導			健康相談		
	赤ちゃん 家庭訪問	養育支援 家庭訪問		乳幼児 相談日		来所 相談
		訪問世帯数	実数	延数	回数	
R01年度	418	55	84	11	375	60
H30年度	426	58	103	12	519	41
比 較	△ 8	△ 3	△ 19	△ 1	△ 144	19

区 分	健康教育							
	妊婦教室 両親教室		育児教室		子育て講話		思春期保健	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
R01年度	12	192	5	79	13	244	7	269
H30年度	16	287	6	101	10	206	9	341
比 較	△ 4	△ 95	△ 1	△ 22	3	38	△ 2	△ 72

・歯科保健対策の実施

（う歯予防）

区 分	フッ素塗布者数
R01年度	1,636
H30年度	1,885
比 較	△ 249

・乳幼児健康診査事業の実施

（乳児健診）

区 分	受診者数	要精検	要観察
R01年度	846	9	176
H30年度	938	6	220
比 較	△ 92	3	△ 44

（先天性股関節脱臼健診）

区 分	受診者数	有所見	要治療
R01年度	389	10	0
H30年度	407	12	1
比 較	△ 18	△ 2	△ 1

（1歳6か月児健診）

区 分	受診者数	要精検	要観察	歯科健診
R01年度	444	7	111	444
H30年度	493	5	144	493
比 較	△ 49	2	△ 33	△ 49

（3歳児健診）

区 分	受診者数	要精検	要観察	歯科健診
R01年度	502	16	129	468
H30年度	554	20	179	554
比 較	△ 52	△ 4	△ 50	△ 86

・特定健診・脳ドック等各種検診事業 (P. 194～195・209)

(国民健康保険特定健康診査・脳ドックの状況)

区 分	特定健康診査		脳ドック		計	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
R01年度	3,129	32,866	247	3,910	3,376	36,776
H30年度	2,927	29,598	410	6,507	3,337	36,105
比 較	202	3,268	△ 163	△ 2,597	39	671

(後期高齢者医療健康診査・脳ドックの状況)

区 分	健康診査		脳ドック		計	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
R01年度	1,443	15,988	248	3,959	1,691	19,947
H30年度	1,183	12,675	241	3,846	1,424	16,521
比 較	260	3,313	7	113	267	3,426

●生涯を通じてスポーツに関わり心身ともに健康になれる環境

・スポーツイベントの充実 (P. 115)

(市民スポーツ交流機会の開催状況)

(単位：人)

大 会 名	期 日	会 場	参加人数
えにわ健康・スポーツフェスティバル	9月29日	総合体育館他	4,562
少年少女ミニバレー大会	12月9日	総合体育館	214
恵庭クロスカントリースキー大会	中止	畜産共進会場	0
市民スポーツ大会 (15団体)	通年	市内体育施設他	2,402
合 計	-	-	7,178

・スポーツ機会の提供 (P. 115)

(スポーツ教室・講習会等の開催状況)

(単位：人)

事 業 名	期間/回数	会 場	参加人数
フィットネスエクササイズ※	通 年 58回	総合体育館	2,310
各種スポーツ実技指導※	通 年 124回	総合体育館他	3,126
ニュースポーツ教室	6月～3月 3回	総合体育館	89
スポーツ少年団スポーツテスト会	8月6日、1月18日 2回	総合体育館	397
合 計	-	-	5,922

※指定管理者委託事業

・競技力向上事業 (P. 115)

(単位：人)

事 業 名	期 間	会 場	参加人数
セガ・サミーカップ PRESENTS シュニアスポーツクリニック(サッカー)	7月6日	千歳臨空公園サッカー場	25
セガ・サミーカップ PRESENTS シュニアスポーツクリニック(テニス)	6月15日	恵み野中央公園庭球場	23
セガ・サミーカップ PRESENTS シュニアスポーツクリニック(バスケット)	6月8日	総合体育館	144
合 計	-	-	192

・スポーツ団体の育成・強化 (P. 116)

1) 市内スポーツ団体の会員登録状況 (単位：団体、人)

区 分	体育協会		スポーツ少年団	
	団体数	会員数	団体数	会員数
R01年度	22	2,152	32	909
H30年度	22	2,352	30	905
比 較	0	△ 200	2	4

2) スポーツ振興基金利子運用事業 (単位：人、団体)

区 分	対象者		種 目
	個人	団体	
国 際 大 会	1	0	陸上
全 国 大 会	31	8	陸上、新体操、空手道、テニス、柔道、水泳、卓球、野球 他
高 校 総 体	8	2	陸上、新体操、空手道、スキー、水泳、ボクシング、柔道
高 校 選 抜	2	1	スキー、バスケットボール、バレーボール
国民体育大会	5	0	陸上、スキー、バレーボール、卓球他
全 道 大 会	18	12	ミニバス、卓球、バレーボール、陸上、野球、ラグビー、剣道
合 計	65	23	

・屋内体育施設の整備充実 (P. 115~117)

1) 屋内体育施設の維持補修事業

- ・ 島松体育館舗装補修工事 385千円
- ・ 島松体育館アリーナフローア床研磨等改修工事 4,213千円
- ・ 屋内体育施設備品購入 1,083千円

2) 屋内スポーツ施設等利用状況 (単位：人)

区 分	R01年度		H30年度		比 較
	個人	団体	個人	団体	
総合体育館	76,200	57,034	86,868	67,792	△ 21,426
島松体育館	9,457	23,414	12,279	24,401	△ 3,809
駒場体育館	3,419	15,926	3,329	17,043	△ 1,027
福住屋内運動広場	2,024	15,763	2,227	15,045	515
合 計	203,237		228,984		△ 25,747

3) 学校開放事業の利用状況 (単位：団体、人)

区 分	R01年度	H30年度	比 較
利用団体数	92	93	△ 1
利用者数	25,194	26,841	△ 1,647

※実利用団体数63団体

※H28より少年団に対する学校教育体育施設開放については教育長裁量による開放につき利用数からは除外

・屋外体育施設の整備充実 (P. 116~117)

1) 屋外体育施設の維持補修費

- ・和光地区市民水泳プールろ過機改修工事 8, 525千円
- ・恵み野中央公園野球場防球フェンス支柱補強工事 1, 296千円
- ・恵み野中央公園野球場スコアボード修理工事 724千円

2) 屋外スポーツ施設利用状況

(単位：人)

区 分	R01年度	H30年度	比 較
恵庭公園野球場	7,284	7,222	62
恵庭公園陸上グラウンド	9,851	5,383	4,468
恵庭公園球技場	6,261	6,438	△ 177
恵庭公園庭球場	3,890	4,660	△ 770
かしわ公園野球場	660	1,014	△ 354
島松屋外運動場	3,568	4,270	△ 702
恵み野中央公園野球場	5,120	7,252	△ 2,132
恵み野中央公園庭球場	5,128	6,276	△ 1,148
中島公園庭球場	5,624	5,875	△ 251
ふるさと公園庭球場	1,044	1,039	5
めぐみの森公園庭球場	111	90	21
あやめ緑地公園庭球場	166	119	47
恵庭中央パークゴルフ場	19,030	19,525	△ 495
漁川カワセミパークゴルフ場	9,372	9,448	△ 76
漁川アイリスパークゴルフ場	5,417	6,017	△ 600
島松パークゴルフ場	4,022	4,653	△ 631
えなみ公園パークゴルフ場	0	0	0
北栄会館パークゴルフ場	703	670	33
市民スキー場(夏期)	10	0	10
市民スキー場(冬期)	4,376	16,640	△ 12,264
市民スケート場(夏期)	3,354	1,347	2,007
市民スケート場(冬期)	11,436	12,245	△ 809
島松スケート場	3,807	5,634	△ 1,827
合 計	110,234	125,817	△ 15,583

3) 市民水泳プール利用状況

(単位：人)

区 分	R01年度	H30年度	比 較
恵庭水泳プール	5,009	4,702	307
島松水泳プール	3,593	3,026	567
柏水泳プール	4,985	4,601	384
和光水泳プール	9,202	7,887	1,315
東恵庭水泳プール	2,192	1,707	485
若草水泳プール	5,203	5,128	75
恵み野水泳プール	3,517	3,052	465
恵み野旭水泳プール	5,368	3,685	1,683
合 計	39,069	33,788	5,281

4) 恵庭南高校水泳プール利用状況

令和元年6月22日～令和元年9月8日 土・日・祝日のみ開放
利用者数 161人

目標09 持続可能な地域医療・介護体制

安心して医療が受けられる環境を整備します。

利用者のニーズに応じた介護サービスの質の確保と向上をめざし、地域密着型サービスについては指定、指導監督を行うなど、適正な介護サービスの運営に努めました。

保健・医療・福祉の関係機関と地域が連携し、一貫性・連続性のある総合的な介護予防システムを確立し、健康づくりと介護予防対策の強化・充実に努めました。

国民健康保険事業の安定、医療費補助制度の推進など、医療保障の充実に努めました。

●夜間・休日診療体制の維持 (P.109～110)

医療の空白時間の解消のため、夜間・休日急病診療所の運営を行いました。

・休日・夜間診療事業

区 分	休 日		土 曜 日		夜 間		合計患者数
	診療日数	患者数	診療日数	患者数	診療日数	患者数	
R01年度	67	1,672	50	392	360	1,730	3,794
H30年度	67	1,932	48	433	359	1,940	4,305
比 較	0	△ 260	2	△ 41	1	△ 210	△ 511

・救急医療システム

設置箇所：夜間急病診療所1カ所、救急告示病院3カ所、消防署1カ所

●地域包括システムの構築 (P.223・229～238)

・高齢者の状況

区 分	令和2年3月末	平成31年3月末
総人口	69,900人	69,626人
高齢者数	19,354人	18,994人
高齢化率	27.7%	27.3%

・審査会の状況

	R01年度	H30年度
審査会回数	60回	50回
審査件数	2,644件	1,857件
審査件数/回	44.07件	37.14件

・要介護認定等の状況(第1号被保険者)

認定者数(令和2年3月末)

区 分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人 数	496	449	646	435	285	292	262	2,865

・介護保険サービスの利用状況(第1号被保険者)

居宅サービス受給者数(令和2年3月審査分)

区 分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人 数	234	289	474	330	137	89	52	1,605

施設サービス受給者数(令和2年3月審査分)

区 分	介護老人福祉施設	介護老人保健施設	介護療養型医療施設	介護医療院	計
人 数	108	196	48	4	356

地域密着型サービス受給者数(令和2年3月審査分)

区 分	地域密着型サービス
人 数	493

・第1号被保険者の保険料の状況

所得段階	保険料(円)	被保険者数	割合
第1段階	15,800	3,611	19.1%
第2段階	24,400	1,606	8.5%
第3段階	33,100	1,408	7.5%
第4段階	48,900	2,622	13.9%
第5段階	57,600	2,263	12.0%
第6段階	72,000	2,191	11.6%

所得段階	保険料(円)	被保険者数	割合
第7段階	74,800	3,255	17.2%
第8段階	86,400	1,162	6.2%
第9段階	100,800	340	1.8%
第10段階	106,500	417	2.2%
計		18,875	100%

・保険料の収納状況

	H30	R01
収納率	99.90%	99.90%

・保険料の減免状況

人数	減免額
2	17,200円

・介護保険サービス利用者負担軽減事業

社会福祉法人による生活困窮者に対する軽減措置(利用者負担のうち1/4を軽減)

対象者数 69人 経費 2,077千円

・高齢者相談支援事業

区分	相談者数(人)	相談件数(件)
高齢者相談窓口	693	902

・地域包括支援センターの設置

(高齢者相談事業)

区分	みなみ包括		ひがし包括		きた包括		中島・恵み野包括		計	
	相談者数	相談件数	相談者数	相談件数	相談者数	相談件数	相談者数	相談件数	相談者数	相談件数
高齢者(一般)	184	860	174	769	143	754	136	685	637	3,068
総合事業対象者	89	766	66	462	58	888	35	456	248	2,572
要支援者	213	2,790	218	2,352	203	3,565	198	3,836	832	12,543
要介護者	61	610	44	410	26	430	29	292	160	1,742
障がい者	5	23	0	0	0	0	0	0	5	23
その他	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1
合計	553	5,050	502	3,993	430	5,637	398	5,269	1,883	19,949

・福祉サービスの推進

事業名	利用者数	年間利用(日・回)数
配食サービス事業	170人	27,556食
外出支援サービス事業	103人	2,168回
訪問理美容サービス事業	25人	62回
除雪サービス事業	491世帯	6,316回出勤

・ひとり暮らし高齢者等対策事業の推進

- ・緊急通報システム端末機貸与事業 年度末設置台数316台(固定56台、携帯260台)
- ・訪問サービス事業 利用者数9人、配布した乳酸飲料309本

・家族介護支援事業の推進

事業名	実施概要
介護教室事業	開催回数1回 参加者数41人
家族介護者交流事業	合同交流5回、参加者数47人、随時交流12回、参加者数72人
家族介護用品支給事業	利用者数 35人
介護支援専門員支援事業	利用件数 46件
成年後見制度利用支援事業	利用件数 0件、市長申立 7人

●医療費の助成

・重度障がい者医療費の助成 (P. 90)

(受給者数)

区 分	身障者	3級外部	知的障がい者	精神障がい者	合 計
R01年度	1,103	289	202	19	1,613
H30年度	1,108	307	202	18	1,635
比 較	△ 5	△ 18	0	1	△ 22

(助成金額) 道補助対象分

区 分	入 院		入 院 外		合 計	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
R01年度	1,624	30,216	23,429	65,959	25,053	96,175
H30年度	1,696	35,567	22,706	64,838	24,402	100,405
比 較	△ 72	△ 5,351	723	1,121	651	△ 4,230

(助成金額) 市単独分

区 分	入 院		入 院 外		合 計	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
R01年度	306	7,646	6,046	11,868	6,352	19,514
H30年度	304	7,073	6,325	12,161	6,629	19,234
比 較	2	573	△ 279	△ 293	△ 277	280

(助成金額) 合計

区 分	入 院		入 院 外		合 計	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
R01年度	1,930	37,862	29,475	77,827	31,405	115,689
H30年度	2,000	42,640	29,031	76,999	31,031	119,639
比 較	△ 70	△ 4,778	444	828	374	△ 3,950

・子ども医療費の助成 (P. 93~94)

(受給者数)

区 分	0~2歳児	3~6歳児	小学生	中学生	合 計
R01年度	1,283	2,105	1,803	28	5,219
H30年度	1,297	2,089	371	31	3,788
比 較	△ 14	16	1,432	△ 3	1,431

※H31.4より小学1~3年生の通院助成を開始

(助成金額)

区 分	入院 (未就学児)		入院外 (未就学児)		入院 (小学生)		通院 (小学生)	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
R01年度	633	21,107	63,320	77,100	66	2,055	17,337	20,620
うち道補助対象分	633	18,814	63,320	58,952	66	2,055	-	-
うち市単独分(一部)	111	2,293	29,536	18,148	-	-	-	-
うち市単独分(全部)	-	-	-	-	-	-	17,337	20,620
H30年度	525	17,742	58,827	71,664	62	2,223	-	-
比 較	108	3,365	4,493	5,436	4	△ 168	皆増	皆増

区 分	入院 (中学生)		合 計	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
R01年度	23	686	81,379	121,568
うち道補助対象分	-	-	64,019	79,821
うち市単独分(一部)	-	-	29,647	20,441
うち市単独分(全部)	23	686	17,360	21,306
H30年度	16	550	59,430	92,179
比 較	7	136	21,949	29,389

※H31.4より小学1~3年生の通院助成を開始

(未熟児養育医療費助成)

区 分	実人数 (人)			件数 (件)			助成金額 (千円)		
	医療	食事療養	計	医療	食事療養	計	医療費	食事療養費	計
R01年度	20	20	40	67	59	126	5,895	1,323	7,218
H30年度	18	15	33	47	37	84	4,071	853	4,924
比 較	2	5	7	20	22	42	1,824	470	2,294

・ひとり親家庭等医療費の助成 (P. 93)

(受給者数)

区 分	親	子	計
R01年度	773	1,179	1,952
H30年度	757	1,135	1,892
比 較	16	44	60

(助成金額)

[親] (道補助対象分) (市単独分)

区 分	入 院		入 院 外		合 計	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
R01年度	86	3,468	9,793	20,997	9,879	24,465
H30年度	76	5,416	9,502	19,419	9,578	24,835
比 較	10	△ 1,948	291	1,578	301	△ 370

[子] (道補助対象分) (市一部負担分含む)

区 分	入 院		入 院 外		合 計	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
R01年度	57	2,099	11,331	17,625	11,388	19,724
H30年度	46	2,444	11,298	17,484	11,344	19,928
比 較	11	△ 345	33	141	44	△ 204

[合計]

区 分	入 院		入 院 外		合 計	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
R01年度	143	5,567	21,124	38,622	21,267	44,189
H30年度	122	7,860	20,800	36,903	20,922	44,763
比 較	21	△ 2,293	324	1,719	345	△ 574

●国民健康保険・後期高齢者医療の状況

・国民健康保険

(加入状況)

区 分	世 帯 数		被 保 険 者 数	
	年平均	対市全世帯%	年平均	対市全人口%
R01年度	8,374	24.79	12,645	18.09
H30年度	8,484	25.45	12,915	18.55
比 較	△ 110	△ 0.66	△ 270	△ 0.46

(収支状況)

区 分	歳入総額 (千円)	歳出総額 (千円)	差引 (千円)
R01年度	6,593,033	6,722,109	△ 129,076
H30年度	6,516,111	6,689,120	△ 173,009
比 較	76,922	32,989	43,933
増加率%	1.18	0.49	

(診療費の状況)

区 分	件 数	受診率%	費 用 額		
			金額 (千円)	1件当り (円)	1人当り (円)
R01年度	138,152	1,092.54	4,372,044	31,647	345,753
H30年度	139,639	1,081.22	4,153,816	29,747	321,627
比 較	△ 1,487	11.32	218,228	1,900	24,126
増加率%	△ 1.06	1.05	5.25	6.39	7.50

・後期高齢者医療

(加入状況)

区 分	被 保 険 者 数	
	年平均	対市全人口%
R01年度	9,471	13.58
H30年度	9,223	13.22
比 較	248	0.36

(収支状況)

区 分	歳入総額 (千円)	歳出総額 (千円)	差引 (千円)
R01年度	976,816	959,210	17,606
H30年度	935,007	919,639	15,368
比 較	41,809	39,571	2,238
増加率%	4.47	4.30	

基本目標Ⅲ 希望と活力に満ちたまち

目標10 いきいきと働きやすいまち

地理的優位性等の強みを活かし、社会情勢や市民ニーズ(職種や就業形態)を踏まえた企業誘致を推進するとともに、「労働者が安心して就業し、働き続けることができる環境の整備」や「後継者を含む人材の育成を目的とした各種支援」等を行いました。

●企業誘致等の状況

平成23年10月で市有工業団地が完売し、その後は未操業用地への仲介・誘致を継続的に行っていますが、誘致が進むにつれて引合い等に対応出来る用地が減少してきたことで、企業要望に適合しないことが課題となっております。

その中でも、アンケート調査やHP・パンフレットの活用により、当市の優位性をPRした結果、4社(新規立地3社、市内移転拡張1社)の立地が決定しました。

●新工業団地の造成

市内地権者から区画整理による工業団地開発の意向が示されましたことから、上記の課題解決を図るために市として開発に係る支援を実施しました。

新工業団地は、令和元年11月に全ての区画が完売となり、2社(上記新規立地3社のうち)の立地が決定しました。

●多様な人材を活かせる労働環境の整備

・就職促進事業 (P.122)

7,987千円

勤労者、企業双方のニーズに対応するため技能向上、就業機会の創出と拡大に努めるとともに若者の定住促進を図る取組を実施しました。

1. 就職促進事業

- (1) 合同企業就職説明会 令和元年9月29日
参加者23名 就職決定者3名 参加企業19社
- (2) 求人企業説明会 令和元年11月13日
参加者32名 就職決定者3名 参加企業11社

2. 採用力向上支援事業

- (1) 企業採用担当者向けセミナー 令和元年9月4日
受講企業20社 受講者21名
- (2) 採用や定着に関する出張アドバイス 令和元年8月～令和2年1月
受講企業5社 実施回数21回

3. 企業情報発信事業

- (1) 冊子の政策及び広報媒体による周知
掲載企業6社、1,500部作成、広告掲載、WEBサイトへの告知記事掲載
- (2) 掲載企業への人材採用コンサルタント
掲載企業(6社)に対し、採用活動サポート及び広告制作等をアドバイス

・求職・労働相談 (P. 122)

661千円

雇用安定対策として、国・道及び関係機関の実施する職業安定事業と連携を密にしながら、地域職業相談室の運営により求人情報の把握や発信、求職活動の利便性向上を図りました。

また、季節労働者の通年雇用化を図るため、通年雇用促進協議会において厚生労働省からの委託事業及び独自事業の通年雇用促進支援事業を実施しました。

地域職業相談室

年 度	ジョブガイド恵庭 (ミニハローワーク)				恵庭市相談室	
	相談件数	新規求職者数	企業紹介件数	就職決定者数	窓口相談	電話相談
R01年度	4,410	1,111	1,113	355	38	2
H30年度	4,821	1,353	1,481	459	38	8
比 較	△ 411	△ 242	△ 368	△ 104	0	△ 6

通年雇用促進支援事業の状況

事 業 名	受講者等		通年雇用化勤務決定者	
	計画	実績	計画	実績
①事業所向け労務管理講習事業	20社	54社	3人	1人
②事業所向け経営支援講習事業	50社	116社	4人	9人
③人材確保育成助成金制度普及啓発事業	900社	1,013社	18人	19人
④求人企業情報提供事業 (企業ガイドブックWeb版掲載)	25社	23社	2人	6人
⑤事業所向け調査研究事業	900社	1,046社	1人	0人
⑥冬季出向型通年雇用相談事業	3社	1社	1人	0人
⑦事業所向けドローン関連業務委託事業	35社	26社	3人	2人
⑧通年雇用化支援講習業務委託事業	10人	9人	1人	1人
⑨パソコン研修事業	40人	40人	1人	2人
⑩建設技能資格取得業務委託事業	27人	22人	4人	9人
⑪施設管理技能資格取得業務委託事業	6人	3人	1人	0人
⑫介護関連資格取得業務委託事業	8人	2人	1人	1人
⑬季節労働者向けドローン関連業務委託事業	5人	6人	1人	0人
⑭商業・サービス業技能講習事業	20人	19人	1人	2人
⑮合同企業就職説明会事業	7人	7人	3人	2人
⑯季節労働者実態調査事業	1,050人	1,067人	—	0人
⑰季節労働者資格取得支援事業	5人	5人	1人	2人
⑱登録季節労働者情報提供事業	650人	565人	1人	0人
⑲建設業安全衛生・特別教育業務委託事業	14人	11人	1人	2人
⑳季節労働者相談事業	60人	57人	1人	0人
合 計	3,835件	4,092件	49人	58人
目標達成率	106.7%		118.4%	

・シルバー人材センター事業支援 (P. 122)

12,129千円

高齢者の生きがい対策、社会参加の推進を図り、高齢者の能力を活かした活力ある地域社会を目指し、恵庭市シルバー人材センターへ支援を行いました。

シルバー人材センターの事業状況

年 度	公共事業 (恵庭市分)		そ の 他		合 計	
	受注件数	金額(千円)	受注件数	金額(千円)	受注件数	金額(千円)
R01年度	358	77,153	2,898	167,630	3,256	244,783
H30年度	354	72,730	3,116	170,025	3,470	242,755
比 較	4	4,423	△218	△2,395	△214	2,028

目標11 恵まれた土地を生かした農林業

農地・農業用排水施設の整備や水利施設の保全管理の推進、農業の多様な担い手の育成により、経営基盤の強化を図り、農畜産物の生産体制の継続と発展に努めました。

●生産基盤整備の充実

農地の効率的な利用と経営規模拡大を図り、土地基盤整備やかんがい排水施設の整備を実施したほか、環境保全に向けた先進的な営農活動を支援しました。

- ・排水路管理事業 (P. 127) **8, 322千円**
排水路補修工事(西1線幹線排水路、西2線幹線排水路、基線排水路ほか)、排水路法面草刈ほか
- ・内水排除施設管理事業 (P. 127~128) **27, 626千円**
排水機場管理事業(北島、西4線、中島松、漁太、漁太川排水機場)
釜加地区内水排水機場管理費負担金(南21号・南18号排水機場)
- ・国営かんがい排水事業 (P. 128) **193, 090千円**
国営土地改良事業地元負担金(道央地区、道央用水三期地区)
- ・多面的機能支払交付金事業 (P. 128) **104, 337千円**
農地維持支払交付金及び資源向上維持支払交付金
- ・道営農地整備(経営体育成型)事業 (P. 128) **108, 421千円**
農地整備事業(漁川右岸、左岸島松、左岸北栄)
- ・国営造成施設(揚水機場)管理事業費 (P. 128) **36, 582千円**
基幹水利施設(千歳川第1・第2揚水機場)の管理

●経営の強化と担い手の育成・確保

関係機関と連携し技術研究や経営支援を行い、農業経営の改善と安定を進めました。

また、経営管理能力の向上などの体質強化を図るとともに、新規就農や女性の経営参画を支援し新たな担い手の確保と育成に努めました。

- ・農業後継者対策費 (P. 124) **6, 895千円**
農業研修派遣事業、農業次世代投資資金(経営開始型)事業
(青年農業者道外研修8名、女性農業者道内研修14名)
- ・農業者支援資金利子補給事業 (P. 124) **530千円**
スーパーL資金、農業経営緊急支援資金に係る利子補給
- ・農業振興対策事業 (P. 124~125) **85, 745千円**
簡易耕土改良施工用作業機械借り上げ(3件 事業面積696a)
ジャガイモシストセンチュウ対策(10件 作付面積2,730a)
米麦改良協会補助事業ほか
- ・環境保全型農業直接支払交付金事業 (P. 125) **5, 100千円**
環境保全型農業への取り組み支援(9件 対象面積7,086a)
- ・畜産振興事業費 (P. 125) **434, 385千円**
酪農経営改善事業(13件)、家畜自衛防疫事業(27件、消毒回数6回)
酪農ヘルパー推進事業(15件)、畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業補助金
- ・営農用水施設管理事業費 (P. 126) **3, 573千円**
盤尻地区営農用水の安定供給を図るために保守点検を実施(対象8箇所)

●農商工等連携による地元農畜産物を生かした商品開発、ブランド化の推進

・恵庭市農商工等連携推進ネットワーク (P. 131~132)

市内の企業・団体が参画して設立した「恵庭市農商工等連携推進ネットワーク」の活動に加え、友好都市協定を結んだ藤枝市と平成29年8月に連携推進ネットワークを設立し、それぞれの特徴を生かした産業振興や農畜産物の販路開拓に取組ました。

(1) 交流・連携事業

定期総会	令和元年 7月 8日	参加者 26名
連携セミナー・地域交流会	令和2年 1月30日	参加者 91人

(2) マーケティング事業

北海道産取引商談会	出展者数	2社
さっぽろオータムフェスト	出展者数	1社
食のブランド・ステップアップ	出展者数	3社

(3) 広報・情報提供事業

取組等をHPにて情報発信、市内食材活用メニュー「飲食店フェア」の開催、フリーペーパーちやんとでの商品紹介

(4) 新商品・新サービス開発事業

新商品数 36品

(5) 藤枝市との連携事業

ネットショップ藤の恵の運営 販売実績 販売商品 106商品 (うち恵庭市 65商品)
事業者間の交流 (産業祭の出店)

フードスマイルフェスティバルINふじえだ(令和元年10月27~28日)恵庭市から4社
ひと・まち・しごとフェス@えにわん産業祭2019(令和元年9月14日)藤枝市から5社
アンテナショップ巣鴨にて共同イベント販売 令和元年12月13~15日
両市の生産者・事業者連携による商品開発推進事業の実施 補助交付2件 開発6商品

・えにわん産業祭2019 (P. 132)

1,991千円

産業祭では、地元の農畜産物や市内の食品加工製造業の展示・販売を通じて恵庭の魅力をPRし、友好都市の藤枝市と姉妹都市の和木町とも連携した交流コーナーを出展しました。

主な出展コーナー

【パン・スイーツマルシェ】、【遊ぼう!学ぼう!冒険しよう!「秘密のアジト」】

【えにわんフードオータムフェス2019・はたらく車・キッチンカー】

開催日: 令和元年9月14日

来場者数約3,500名 出展数49ブース

目標12 暮らしを支える商業

地域に根ざした魅力ある商店街づくりを行うため、商工関係団体との連携による地元消費の喚起や地域の特性を生かすとともに、中小企業・小規模事業者の経営課題や新たな事業展開に対し、関係機関と連携し相談、助言を行うなど、支援体制を構築し、市内商業の活性化に努めました。

●商店街の担い手育成や新規開業・創業者への支援

・商店街活性化振興事業 (P. 131)

1, 353千円

消費者の市外流出に歯止めをかけ、高齢化社会に対応した商業形成を図るため、市内商店街・商店会が連携するとともに、地域住民の協力や理解を得るなど、地域に根ざした魅力ある商店街・商店会づくりに努めました。

(1) 商店街振興対策補助金

商店街の景観整備などによるイメージアップと魅力向上を図る事業を支援

(2) 商店街活力再生促進事業補助金

商店主達が地域のイベントを開催し、商店街の活性化を図る事業を支援

・起業家支援事業 (P. 130)

6, 823千円

市内で新たに新店を出す事業者に対する新規出店支援補助金の交付、起業する際の様々な疑問や悩みを解消し事業を成功に導くノウハウを学ぶためのセミナーや専門家による個別相談会を開催しました。

●市民をまきこんだにぎわいづくりの推進

・市民参加型・えにわ版マルシェ推進事業 (P. 133)

642千円

市民が主体となって、市内企業や商店、様々なサークル活動団体等の人と人とのつながりを大事に運営し、まちのにぎわいを創出し、まちの活性化、地域振興につなげました。

・えにわマルシェ

会場：恵庭市民会館 中ホール、恵庭市役所駐車場

開催日：令和元年8月10日、11日

来場者：9,000人

出店数：延90店

・プチマルシェ

会場：道と川の駅「花ロードえにわ」

開催日：平成31年4月27日～令和元年9月29日までのうち61日間 出店数：延336店

会場：白扇の滝 滝見広場（恵庭溪谷）

開催日：令和元年10月19日、20日 出店数：延8店

会場：フレスポ恵み野

開催日：平成31年4月26日～令和元年11月10日までのうち8日間 出店数：延64店

目標13 来てみたいまち 住んでみたいまち

来てみたいまち住んでみたいまちをめざし、観光による来訪はもとより、花のまちや恵庭溪谷など魅力ある観光資源の情報発信の強化と新たなブランド戦略や、シティプロモーションの充実に努めました。

●魅力ある恵庭らしい観光資源の活用・創出

恵庭市の観光資源である「恵庭溪谷」「花のまち」を活かした観光の取組みを推進するため、観光振興施策の展開を検討しました。

また、観光PRの強化や拠点の充実、新たな観光資源の創出に重点を置いて観光振興を図りました。

- ・恵庭市観光推進協議会の開催

開催日：令和元年8月23日 場所：恵庭市民会館 中ホール

- ・オープンガーデンイベント「恵みの庭めぐり」 開催日：令和元年7月12日、13日
- ・恵庭市HP「花と観光」 閲覧数 116,483件（前年度比54.1%）
- ・恵庭市公式観光WEBサイト「ENIWA EYE」 閲覧数108,585件（前年度比173.7%）
- ・さっぽろビアガーデンふるさとPRステージ 開催日：令和元年8月7日 会場：札幌大通公園
- ・恵庭溪谷紅葉バスめぐり 開催日：令和元年10月11日～14日 参加者：450人

・ウェルカムフラワーロード活動の促進 (P.134～135)

恵庭市への入口となる西島松北の国道36号花壇をリニューアルしたほか、美咲野・牧場の道々恵庭岳公園線の中央分離帯、恵庭インター前の植樹帯を花で飾り、恵庭市への観光客などを歓迎する美化活動を実施しました。

- ・花のウェルカムゾーン形成事業（国道36号花壇整備） 2,992千円

・恵庭花のまちづくり推進会議事業 (P.134～135)

平成30年3月に新・花のまちづくりプランを策定し、「美しいまちで暮らそう」を目標に市民、行政、団体、企業が協働により花と緑を活かした環境づくりに取り組みました。

(1) 花とくらし展

開催日：令和元年6月29日、30日

会場：恵み野中央公園、恵庭市立図書館、イトーヨーカドー恵庭店

(2) 花マップの製作 30,000部（市内JR各駅、花ロードえにわ外にて配布）

(3) youtubeアカウントの作成 花の拠点PR動画の制作

(4) コミュニティーガーデン造成事業

恵庭市立図書館において、市民と協働により前庭花壇を童話の世界をイメージした花壇に造成し、来館者が花壇づくりに参加したくなるコミュニティーガーデン造成事業を実施しました。

・対恵庭直接投資継続拡大に係る推進事業 (P.136)

7,465千円

令和元年度は、過去2年間の事業を継続しつつ、台湾向けの情報発信に力点を置いた事業展開を進め、さらなる事業の推進、拡大に取り組みました。また、地産品を組み合わせた地域ブランド商品や花をモチーフとした体験商材を開発し、地域全体で収益を得られるツアーを造成しました。

- ・恵庭らしさを活かした訪日教育・修学旅行のツアー造成

- ・直接交渉によるツアー宣伝及びツアーの実現

台湾国際教育旅行連盟（3名）を招聘 視察：市内12の観光施設等

日台教育旅行現地説明会に参加 商談：25校、個別訪問：14校、3社

- ・ENIWA EYEの運営 情報発信：34回、SNS広告、OTAサイトでの商品販売

- ・訪日ツアー受入調整・マッチング

台北市立格致国民中学校：生徒7名、教員2名（恵庭中学校交流）

台中市東区大智国民小学校：生徒14名、教育・保護者等13名（ホームステイ等）

台湾・大葉大学：高校生徒1名、教員2名（視察見学）

台北市立中正高級中学校・台北市立陽明高級中学校：生徒32名、教員2名（ホームステイ等）

・えにわシティセールス事業 (P. 58) **3, 762千円**

恵庭市の認知度向上を図るため、恵庭市シティセールスプランを策定したほか、平成30年度から引き続き魅力ある観光資源の発信の強化、新たなブランド戦略の実施などシティセールスを推進しました。

- ・シティセールス検討委員会 開催回数：3回
- ・シティセールス庁内検討委員会 開催回数：2回
- ・SNSパネルの作成 設置場所：恵庭駅構内、道と川の駅「花ロードえにわ」
- ・ロゴマークの作成
- ・人口7万人達成横断幕、のぼりの作成、広告掲載によるPR事業の実施
- ・ガーデンシティ大使の任命 大学生3名、子育てママ3名

・花イベント開催事業 (P. 67) **9, 268千円**

恵庭市は市民との協働による花のまちづくりが一定の評価を得てきましたが、観光資源としては個人の庭であるオープンガーデンに依存し、観光基盤の脆弱性が課題となっていました。

このような状況の中、さらなる観光資源の魅力向上、着地型観光の推進、イベントの充実など観光基盤の強化を図るため、恵庭市は令和元年1月に北海道と連携による「全国都市緑化フェア」の招致を表明し、令和4年度の開催を目指して取組みを進めました。

- ・全国都市緑化北海道フェア基本構想検討委員会 開催回数：2回
- ・全国都市緑化北海道フェア連絡協議会
出席団体：北海道開発局、札幌市、岩見沢市、苫小牧市、江別市、千歳市、北広島市、南幌町、由仁町、長沼町、白老町、厚真町、安平町、むかわ町、北海道、恵庭市
開催回数：1回

・ふるさと公園再整備事業 (P. 144) **1, 137千円**

- ・恵庭ふるさと公園埋蔵文化財試掘調査

・花の拠点整備事業 (P. 133~134) **991, 864千円**

- ・花の拠点および貯水槽整備工事
- ・道と川の駅改修工事
- ・道と川の駅地中熱冷暖房設備、太陽光発電設備整備工事
- ・農畜産物直売所整備工事
- ・(仮称)花の拠点センターハウス改修工事
- ・松園線道路整備工事

●移住・定住の促進

・移住促進事業 (P. 65~66) **5, 646千円**

平成23年度に開設した「恵庭市移住・定住支援サイト」では、恵庭市の魅力を発信し、道外で開催された移住イベントに参加するなど、恵庭市の知名度向上に努めました。

また、移住促進事業としての「オーダーメイドツアー」の実施、新たな移住促進体制に向けた勉強会や移住者との交流会を実施し、さらには空き家にしないためのマイホーム活用についての住まいのセミナーを開催するなど、住み替えなども提案する活動に取組ました。

- ・恵庭市移住・定住支援サイトへのアクセス件数：40, 879件
- ・移住イベントへのブース出展：5イベントへ参加 合計相談者117組
- ・オーダーメイドツアー参加者数：20組
- ・恵庭住まいのセミナー参加者数：95名

・西島松地区土地利用推進事業 (P. 67) **67千円**

西島松地区の市街化区域における低利用地活用のため、平成30年度から調査を開始しました。

調査結果に基づき、開発事業を検討している事業者や地権者と開発に向けて協議を開始し、課題抽出や事業手法の検討を実施しました。

●都市間交流の促進 (P. 70～71)

2, 558千円

・和木町との相互交流（花とくらし展）

開催日 令和元年6月29日、30日（来惠者3名）

・和木町「姉妹都市締結40周年記念式典」に参加

開催日 令和元年10月19日（参加者6人）

・和木町「わき愛あいフェスティバル」に参加

開催日 令和元年11月3日（参加者2人）

・姉妹都市等交流促進補助金事業

第4回恵庭市長杯サッカー大会（来惠者20名）

第46回藤枝J.C杯争奪少年少女サッカー大会（訪問者22名）

藤枝市・恵庭市農商工連携広域ネットワークによる「フード！スマイルフェスティバルinふじえだ」
の出展交流（訪問者6名）

姉妹都市締結40周年記念式典訪問団（訪問者20名）

基本目標Ⅳ 人が育ち文化育むまち

目標14 地域で育む子育て環境

子どもの居場所づくりに向け、子どもの集う場所の整備や、民間施設を含めた保育環境の確保、ヒューマン・コミュニケーション力を育むための事業の促進に努めました。

●子どもの居場所づくりとして計画的な子どもひろば、子育て支援センター、学童クラブの整備 (P. 92～93・98～104)

子育てについての家庭対策や相談・指導などの各種支援に努めました。更に、児童が健やかに育つ環境づくりのために、子育て支援センター事業や子どもひろば事業、学童クラブ事業等を実施し、地域における子育て支援機能の充実を図りました。また、児童手当、児童扶養手当等の各種手当を支給し、家庭の生活の安定を図りました。

・次期えにわっこ☆すこやかプラン策定事業 (P. 103～104) 4, 225千円

えにわっこ☆すこやかプランは、子ども・子育て支援法に基づく市町村子ども・子育て支援事業計画であり、現行計画が令和元年度をもって計画期間を終了することから、次期えにわっこ☆すこやかプラン策定事業を実施しました。

- ・第2期えにわっこ☆すこやかプラン 計画期間：令和2年度～令和6年度（5年間）

・青少年生活実態調査事業 (P. 104) 1, 592千円

恵庭市の課題や地域の特性を踏まえた子どもの施策の検討及び次期えにわっこ☆すこやかプランの策定等に活用するため、北海道文教大学との協働により子どもの生活実態調査を実施しました。

- ・調査対象：小学2年生、小学5年生、中学2年生、高校2年生の保護者及び子ども
- ・配布件数 保護者：2, 493人、子ども：1, 907人
- ・回収件数 保護者：1, 780人、子ども：1, 229人
- ・回答率 保護者：71.4%、子ども：64.4%
- ・マッチング数 1, 217件（99.0%）

・学童クラブ事業 (P. 100～101) 54, 169千円

放課後の時間帯における児童の健全な育成を図るため学童クラブを運営しており、令和元年度からは恵み野小学校区に1箇所増設し全17箇所で行事業を実施しました。平成29年度から3か年の民間委託試行事業を実施しており、令和元年度は6箇所まで試行範囲を拡大し、より詳細な検証、分析を行いました。また、民間委託学童クラブを対象にICT化を進め、環境改善に取り組みました。

- ・平成29年度試行 島松学童クラブ
- ・平成30年度試行 島松学童クラブ、柏学童クラブ、柏第2学童クラブ
- ・令和元年度試行 島松学童クラブ、柏学童クラブ、柏第2学童クラブ、恵庭学童クラブ、恵庭第2学童クラブ、恵庭第3学童クラブ

学童クラブ受入状況（月平均）

区分	小学校1年生	小学校2年生	小学校3年生	小学校4年生	小学校5年生	小学校6年生	障害児	合計
R01年度	171	175	134	75	37	13	11	616
H30年度	196	160	124	80	40	3	10	613
比較	△ 25	15	10	△ 5	△ 3	10	1	3

・学童クラブICT化推進事業

2, 872千円

・松恵子どもクラブ受入状況（月平均）

区 分	小学校1年生	小学校2年生	小学校3年生	小学校4年生	小学校5年生	小学校6年生	障害児	合計
R01年度	18	14	15	11	15	9	-	82
H30年度	14	15	10	16	11	8	-	74
比 較	4	△ 1	5	△ 5	4	1	-	8

・子育て支援センター事業の充実（相談件数・利用者数）

相 談 項 目	件数	年齢等	利用者数
しつけ（基本的な生活習慣）	133	保護者	14,472
発達（言語、情緒、身体）	101	0歳	3,474
子どもの対人関係	63	1歳	6,246
親子・家庭関係	79	2歳	3,675
問合せ	541	3歳以上	3,037
合 計	917	合 計	30,904

※相談件数・利用者数は、柏陽・恵み野・島松・黄金・柏、恵庭の各支援センターの合計

・子どもひろば利用状況（令和2年3月31日現在）

区 分	就学前児童	小学生	中学生	高校生	その他	合計	
R01年度	恵庭子どもひろば	561	10,989	171	124	628	12,473
	黄金子どもひろば	511	11,160	456	14	636	12,777
	島松子どもひろば	256	3,505	642	56	503	4,962
	恵み野子どもひろば	2,162	2,453	681	6	2,140	7,442
	若草っこひろば	-	2,520	-	-	-	2,520
	柏子どもひろば	654	4,709	730	45	701	6,839
	合 計						47,013
H30年度	恵庭子どもひろば	1,773	12,630	168	137	1,931	16,639
	黄金子どもひろば	703	13,652	605	13	259	15,232
	島松子どもひろば	338	5,086	972	81	244	6,721
	恵み野子どもひろば		6,501			1,095	7,596
	若草っこひろば	-	2,655	-	-	-	2,655
	柏子どもひろば	720	7,200	731	106	721	9,478
	合 計						58,321
比 較	恵庭こどもひろば	△ 1,212	△ 1,641	3	△ 13	△ 1,303	△ 4,166
	黄金子どもひろば	△ 192	△ 2,492	△ 149	1	377	△ 2,455
	島松子どもひろば	△ 82	△ 1,581	△ 330	△ 25	259	△ 1,759
	恵み野子どもひろば		△ 1,199			1,045	△ 154
	若草っこひろば	-	△ 135	-	-	-	△ 135
	柏子どもひろば	△ 66	△ 2,491	△ 1	△ 61	△ 20	△ 2,639
	合 計						△ 11,308

・ファミリーサポートセンター会員数／援助活動件数

	援 助 内 容	件数
・依頼会員 731人	保育所・幼稚園への送迎、預かり等	140
・協力会員 128人	学童保育の送迎、預かり等	22
・両方会員 67人	保護者等の外出、病気、急用時の場合の援助	93
合 計 926人	保護者等の短時間・臨時就労等による預かり等	183
	子どもの病気、習い事等の場合の援助	381
	合 計	819

・児童手当

区 分		第1子		第2子		第3子以降		合 計	
		総人員	金額(千円)	総人員	金額(千円)	総人員	金額(千円)	総人員	金額(千円)
R01年度	3歳未満	5,602	84,030	4,251	63,765	2,180	32,700	12,033	180,495
	3歳以上	23,097	230,970	16,424	164,240	6,225	93,375	45,746	488,585
	中学生	9,304	93,040	5,283	52,830	644	6,440	15,231	152,310
	特例給付	1,260	6,300	1,073	5,365	504	2,520	2,837	14,185
	小計	39,263	414,340	27,031	286,200	9,553	135,035	75,847	835,575
H30年度	3歳未満	5,401	81,015	4,670	70,050	2,218	33,270	12,289	184,335
	3歳以上	23,346	233,460	16,596	165,960	6,314	94,710	46,256	494,130
	中学生	9,837	98,370	5,247	52,470	532	5,320	15,616	156,160
	特例給付	1,092	5,460	961	4,805	442	2,210	2,495	12,475
	小計	39,676	418,305	27,474	293,285	9,506	135,510	76,656	847,100
比 較		△ 413	△ 3,965	△ 443	△ 7,085	47	△ 475	△ 809	△ 11,525

※3歳未満・3歳以上小学校修了前(第3子)は月額15,000円

※3歳以上小学校修了前(第1・第2子)・中学生は月額10,000円

・児童扶養手当

区 分	全部支給	一部支給	金額支給停止	合計(人)	金額(千円)
R01年度	378	245	75	698	403,870
H30年度	371	260	79	710	319,058
比 較	7	△ 15	△ 4	△ 12	84,812

・未婚の児童扶養手当受給者に対する臨時・特例給付金 対象者：55名 963千円

・遺児手当

区 分	就学児(15,000円/年)		未就学児(12,000円/年)		合 計	
	総人員	金額(千円)	総人員	金額(千円)	総人員	金額(千円)
R01年度	25	339	2	13	27	352
H30年度	23	303	1	8	24	311
比 較	2	36	1	5	3	41

・施設入所面会旅費助成事業

区 分	申請世帯	金額(千円)
R01年度	1	6
H30年度	4	99
比 較	△ 3	△ 93

・入院助産措置状況

区 分	措置人員	金額(千円)
R01年度	1	773
H30年度	3	1,369
比 較	△ 2	△ 596

・子育て支援短期利用事業・夜間養護等事業

区 分	短期利用事業			夜間養護等事業(平成29年度から実施)		
	児童数	日数(日)	金額(千円)	児童数	日数(日)	金額(千円)
R01年度	1	2	9	0	0	0
H30年度	0	0	0	0	0	0
比 較	1	2	9	0	0	0

・子ども相談事業の推進

家庭児童相談受付件数

(実件数)

項目	養護相談		保健相談	障がい相談						非行相談	
	児童虐待	その他		肢体不自由	障がい視聴覚	障がい言語発達	障がい重症心身	知的障がい	発達障がい	ぐ犯行為等	触法行為等
R01年度	101	111	2	1	0	0	5	62	42	0	0
H30年度	91	135	1	5	0	1	5	40	60	1	0
比較	10	△ 24	1	△ 4	0	△ 1	0	22	△ 18	△ 1	0

項目	育成相談				その他の相談	合計
	性格行動	不登校	適性	し育児・つけ		
R01年度	0	2	1	5	6	338
H30年度	5	6	0	0	14	364
比較	△ 5	△ 4	1	5	△ 8	△ 26

・児童虐待の防止と体制の強化

恵庭市要保護児童ネットワーク協議会

代表者会議 1回 実務者会議 1回 個別ケース検討会議 27回 講演会 1回

・ひとり親家庭相談の実施

母子父子自立相談員相談指導件数

項目	生活一般							児童					
	住宅	医療・健康	家庭紛争	就労	結婚	養育費	借金	その他	養育	教育	非行	就職	その他
R01年度	0	4	55	130	19	2	0	350	50	31	0	1	30
H30年度	4	12	78	73	20	2	1	318	29	33	1	0	6
比較	△ 4	△ 8	△ 23	57	△ 1	0	△ 1	32	21	△ 2	△ 1	1	24

項目	経済的支援・生活援助							その他					合計
	母子福祉資金	寡婦福祉資金	公的年金	児童扶養手当	生活保護	税	その他	売店設置	たばこ販売	母子家庭向公営住宅	母子福祉施設の利用	母子生活支援施設	
R01年度	273	19	5	351	5	9	103	0	0	0	0	0	1,437
H30年度	330	3	0	318	0	7	88	0	0	0	0	0	1,323
比較	△ 57	16	5	33	5	2	15	0	0	0	0	0	114

・ひとり親家庭自立支援教育訓練給付金事業

区 分	パソコン講座	ホームヘルパー	医療事務	介護技術	その他	合計
R01年度	0	0	0	3	0	3
H30年度	0	0	0	0	0	0
比 較	0	0	0	3	0	3

・ひとり親家庭高等職業訓練促進給付事業

区 分	理学療法士	作業療法士	保育士	准看護師	看護師	その他	合計	修了支援給付金※
R01年度	0	0	3	0	2	1	6	2
H30年度	0	0	1	0	2	0	3	0
比 較	0	0	2	0	0	1	3	2

※養成課程が終了後1回支給

・ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援事業（平成29年度より実施）

区 分	利用者数	金額（千円）
R01年度	0	0
H30年度	1	78

・ひとり親家庭等日常生活支援事業

区 分	利用者数	利用回数	利用時間	金額（千円）
R01年度	1	2	8	13
H30年度	0	0	0	0
比 較	1	2	8	13

・恵庭市子どもの生活・学習支援事業実施状況

区 分		恵庭地区	柏地区	若草地区	恵み野地区(R01より)	合計
R01年度	述べ利用者数(人)	213	400	447	291	1,351
	開設日数(日)	48	44	73	41	206
H30年度	述べ利用者数(人)	194	306	501		1,001
	開設日数(日)	49	47	70		166
比 較	述べ利用者数(人)	19	94	△ 54	291	350
	開設日数(日)	△ 1	△ 3	3	41	40

●民間施設を含めた保育環境の確保(P. 96～98・102～104)

ライフスタイルや就労形態の多様化に伴い、子育て支援事業の充実を図るため、保育所では0～2歳児を中心に52名の定員を拡大し受入態勢を確保しました。また、延長保育事業や休日保育事業、一時保育事業、地域交流保育事業を実施したとともに、エアコンの設置経費の補助事業を実施し、仕事と育児を両立し安全安心に保育所へ預けることができるよう環境整備を行いました。さらに、令和元年10月から3歳以上児及び3歳未満児の非課税世帯の幼児教育保育無償化が開始され、保育サービスの向上が図られました。

・保育所入所児童数

(令和2年3月31日現在)

区 分	年 齢 別 の 入 所 児 童 数							定 員	入 所 率 %
	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計		
すずらん保育園	6	12	16	17	14	16	81	90	90.0%
島松いちい保育園	12	15	18	22	22	16	105	90	116.7%
すみれ保育園	5	19	16	14	17	15	86	90	95.6%
恵み野保育園	7	15	16	13	11	9	71	56	126.8%
ひまわり保育園	8	15	10	5	6	6	50	49	102.0%
さくら保育園	12	18	18	13	13	12	86	75	114.7%
えほんの森	9	15	14	14	15	13	80	75	106.7%
幼稚舎えるむ	6	18	16	14	11	7	72	69	104.3%
えにわスマイル保育園	9	14	12	10	8	9	62	53	117.0%
かしわ幼稚園・保育園	6	14	9	12	9	10	60	58	103.4%
あいおい子ども園 ※ ¹	12	21	10	16	18	17	94	90	104.4%
恵庭保育園 ※ ²	0	0	12	0	0	0	12	18	66.7%
合 計	92	176	167	150	144	130	859	813	105.7%
うち、他市町村からの広域受入	0	1	0	1	2	3	7		
他市町村への広域入所	2	5	0	1	1	2	11		

※¹ こすもす保育園から認定こども園「あいおい子ども園」へ移行(平成31年4月1日～)

※² 新規開所「恵庭保育園」(平成31年4月1日～)

・多子世帯保育料軽減支援事業(保育料一部無償化)

対象 3歳未満児(第2子以降)

区 分	実人数	延人数
R01年度	186	1,763
H30年度	176	1,688

・休日保育事業

定 員 : 10名程度

開設時間 : 8時～18時

区 分	実人員	延人員	利用日数
あいおい子ども園	27	324	69
合 計	27	324	69

・地域交流保育事業

実施時期 : 平成31年4月～令和2年3月(月1回)

実施時間 : 9時45分～11時00分(各園で時間調整)

対 象 児 : 平成31年4月1日現在 生後6ヶ月以上～就学前児まで(各園共通) 親子で参加

区 分	組 数	人 数
すずらん保育園	22	32
島松いちい保育園	47	94
すみれ保育園	37	78
恵み野保育園	9	18
ひまわり保育園	6	12
さくら保育園	40	80
えほんの森	65	128
幼稚舎えるむ	109	218
えにわスマイル保育園	56	113

区 分	組 数	人 数
かしわ幼稚園・保育園	200	400
あいおい子ども園	15	42
合 計	606	1,215

・延長保育事業

保育時間 18時15分～19時15分

区 分	実人員	延人員	利用日数
すずらん保育園	42	769	299
島松いちい保育園	45	1,487	284
すみれ保育園	41	651	302
恵み野保育園	25	317	172
ひまわり保育園	21	736	259
さくら保育園	34	875	257
えほんの森	36	1,578	277
幼稚舎えるむ	34	526	156
えにわスマイル保育園	29	440	177
かしわ幼稚園・保育園	11	477	217
あいおい子ども園	45	1,052	260
合 計	363	8,908	2,660

・一時保育事業

対象児：1歳～就学前児

定 員：8名/日

保育時間：7時15分～18時15分

区 分	実人員	延人員	利用日数
すみれ保育園	70	786	260
島松いちい保育園	44	670	263
あいおい子ども園	75	1,399	271
えほんの森	69	879	258
合 計	258	3,734	1,052

・すみれ保育園防犯カメラ設置事業 (P. 98)

644千円

・保育園等環境整備事業費補助金（エアコン設置 7園） (P. 102)

2,081千円

・幼児教育・保育無償化事業 (P. 104)

17,535千円

●ヒューマン・コミュニケーション力を育むための事業の促進 (P. 163)

少子高齢化、地域の関係性の希薄化など、家族のあり方や地域社会の結びつきが変化し、様々な年代との関わりを体験することなく子どもや若者が育つ時代の中、人間関係構築のために大切なコミュニケーション力を形成するため、家庭や学校、地域などで、子どもと保護者等が交流し思いやりの心や良好な人間関係を育むことができるよう各事業の推進に努めました。

・えにわ赤ちゃん登校日

実施日：令和元年7月17日、18日、19日、9月12日、13日、10月16日、17日

会 場：柏陽中学校

対 象：柏陽中学校3年生 93人 赤ちゃん親子 37組

・児童生徒 ヒューマン・コミュニケーション講座

実施日：恵北中学校 令和元年7月4日、5日

：若草小学校・柏陽中学校 令和元年11月19日、20日

会 場：恵北中学校、若草小学校、柏陽中学校

対 象：恵北中学校1年生 57人、2年生 61人

：若草小学校6年生 101人、柏陽中学校2年生 83人

・教職員等対象 ヒューマン・コミュニケーション講座

実施日：令和元年8月1日、2日

会 場：恵庭市民会館 中ホール

対 象：市内小中学校教職員等 52人

・市民等対象 ヒューマン・コミュニケーション講座

実施日：令和元年10月17日

会 場：恵庭市民会館 大会議室

対 象：市職員 22人

目標15 心豊かな思いやりをもった子どもの育成

心豊かな子どもの育成のため、地域住民や市民団体等を主体として、生活体験や自然体験、社会体験の機会の充実や、地域活動機会の充実、読書習慣の形成等による青少年の育成を図るとともに、指導者の育成や指導者間の連携充実を図りました。

●体験型事業の推進

市民一人ひとりが社会の変化に柔軟に対応し、自分にとって生きがいやうおいのある学習ができるよう、幼児期から高齢期まで人生の各期に応じた学習機会の提供と充実に努めました。

・コミュニティスクール事業 (P.167)

- ・恵み野小学校区 7事業、活動日数 29日、参加者数 延1,144人
- ・島松小学校区 8事業、活動日数 18日、参加者数 延911人

・通学合宿事業

- ・通学合宿等支援

実施地区	宿泊日数	参加人員	実施場所
恵み野体験合宿	1泊2日	19	恵み野憩の家
柏地区体験合宿	1泊2日	11	文京町内会館
恵庭地区通学合宿	4泊5日	28	いくみ会館
恵庭体験合宿(学生版)	1泊2日	26	柏陽憩の家
島松通学合宿	2泊3日	22	島松憩の家
和光体験合宿	1泊2日	37	和光小学校
若草地区通学合宿	3泊4日	22	柏陽憩の家

・子ども塾 (P.169)

事業分類	延事業回数	延実施日数	延参加人数	内容
ものづくり・実験教室	3	3	139人	おもしろ理科実験教室(2)、手作りアート
宿泊型体験教室	3	6	68人	ふるさと再発見、イングリッシュキャンプ、体験のスマ
体験学習	2	2	50人	食の体験ラボ、イングリッシュキャンプ
合計	8	11	257人	

・青少年宿泊研修施設利用状況 (P.169)

利用者 : 市内児童、生徒、高校生及び保護者等並びに交流目的の市外児童、生徒及び高校生
 利用人数 : 412人 (前年度研修センター利用人数 8,115人)

・青少年育成事業

少年の主張中学校大会	参加校5校 (各校1人発表)
えにわっ子ジュニアセミナー	小学5年生～中学1年生 前期:26人 後期:27人
青少年表彰	団体活動者賞(個人)1人(団体)1団体

青少年育成基金利子運用事業
2019スウェーデンシアを迎える会

- ・恵庭市新成人のつどい

開催日: 令和2年1月12日 開催場所: 恵庭市民会館
 参加者数: 482人 (男252人、女230人)

●読書活動による青少年の育成

ブックスタートで本と出合った乳児が成長するにしたい、幼稚園や小中学校などの読書活動を通して豊かな心や自ら学ぶ力を育てながら読書習慣を形成するため、総合的・体系的に読書環境を整備し、児童生徒の読書意欲の高まりや自主的な調べる力の習得などの推進を図りました。

・ブックスタート事業 (P. 174)

(ブックスタートパックを9～10ヵ月児健診を受診する親子に配布)

・対象乳児：447人、配布パック数：364個

・ブックスタートプラス事業 (P. 174)

(絵本とガイドブックを1歳6ヵ月児健診を受診する親子に配布)

・対象乳児：448人、配布パック数：423個

・私立幼稚園等図書環境整備支援 (P. 174)

・私立幼稚園及び認可外保育施設 11施設 416千円

・読み聞かせ活動の推進 (P. 174)

(おはなし広場開催状況)

(単位：回、人)

区分	開催回数	参加者数	1回平均参加者数
本館	60	473	7.9
恵庭	34	330	9.7
島松	22	67	3.0
計	116	870	7.5

・家読推進及び講演会事業

・家読講演会「武田美穂の絵本わーど」 参加者52名

・小・中学生調べる学習コンクール

・参加児童生徒 458人 (小学校182人、中学校276人)

・作品点数 432点 (小学校182点、中学校250点)

・小・中学校学校司書の配置 (P. 158・162)

・市内13小中学校に各1名配置 (和光小 2名)

・小・中学校の図書の充実 (P. 158・162)

1) 小学校学校図書館の現況 (単位：冊)

	R01年度	H30年度	増減
貸出冊数	227,401	245,442	△ 18,041
一人当貸出数	59.9	63.8	△ 3.9
蔵書冊数	80,630	80,782	△ 152
一人当蔵書数	21.2	20.1	1.1

2) 中学校学校図書館の現況 (単位：冊)

	R01年度	H30年度	増減
貸出冊数	41,315	44,449	△ 3,134
一人当貸出数	21.7	22.9	△ 1.2
蔵書冊数	60,111	58,934	1,177
一人当蔵書数	31.6	29.6	2.0

・図書館本館空調設備機器改修工事 (P. 174)

141,955千円

目標16 子どもの自立成長を促す学校教育

「自ら課題を見出し解決する力」「社会、自然等とともに生きる力」「生涯にわたって学び続ける力」を身に付け、自立心のある子どもたちの育成をめざすため、児童生徒一人ひとりの学習を活性化する協働学習の環境整備を図り、一人ひとりのニーズに沿った環境整備に努めました。

●ふるさと教育の推進

・特色ある学校づくり (P. 154)

(教育振興推進交付金事業内容)

(単位：千円)

学 校 名	事 業 内 訳	事業費 (補助額)
恵庭小学校	竹飼育学習、総合学習、全校集会活動充実、児童登下校時安全対策、花いっぱい運動、学校支援地域本部、学校課題研究発表	490 (490)
島松小学校	竹飼育学習、全校集会活動推進、地域素材を生かす教育活動推進、総合学習、花いっぱい運動・栽培活動推進、学校支援地域本部	317 (317)
柏小学校	竹飼育学習、いじめ・不登校対策研究等、教材園での栽培、校地内での体験活動、読書環境整備、児童の交通安全意識啓発、総合学習、ふれあい広場、花いっぱい運動、学校支援地域本部、学校課題研究発表	547 (547)
和光小学校	竹飼育学習、全校集会活動推進、わ・和・輪スクール、総合学習、花いっぱい運動、学校支援地域本部	444 (444)
松恵小学校	学校農園活動推進、体力づくり推進、基礎学力定着推進、国際理解教育推進、総合学習、竹飼育学習、集団づくりのための取組、情報図書館まつり、学校花壇活動の推進、学校支援地域本部	241 (241)
若草小学校	若草ふれあいスクール、総合学習・生活科授業充実、児童会活動の充実、竹飼育学習、学力向上事業、学校花壇整備、学校力向上総合実践事業重点課題の達成、学校支援地域本部、コンサート鑑賞	371 (371)
恵み野小学校	竹飼育学習、校舎内外の教育環境整備、総合学習、花いっぱい運動、学校支援地域本部、学校課題研究発表	327 (327)
恵み野旭小学校	児童会活動、竹飼育学習、基礎学力向上、総合学習、情報教育、体力向上、環境整備、学校支援地域本部	315 (315)
恵庭中学校	吹奏楽演奏活動・楽器購入、総合学習、竹稚魚飼育・ふるさと教育、生徒会活動充実、PTA・町内会と連携した花づくり、学校支援地域本部	648 (648)
恵北中学校	学校運営推進事業、生徒会活動推進、総合学習、特別支援教育支援事業、花いっぱい運動、学校支援地域本部事業、学校課題研究発表	387 (387)
恵明中学校	総合学習、竹稚魚飼育、生徒会活動充実、地域住民・保護者・生徒交流、吹奏楽部の充実・楽器整備、花壇整備の活動、学校支援地域本部事業、学校課題研究発表、手作り木工教室	963 (963)
柏陽中学校	竹の稚魚飼育観察、自主的な生徒の活動支援、総合学習、学校花壇及びフラワーロード整備活動、学校支援本部事業、学校課題研究発表、手作り木工教室	536 (516)
恵み野中学校	竹の稚魚飼育観察、生徒会活動、情報教育推進、中庭整備、総合学習、学校緑化推進・環境美化奉仕、学校課題研究発表	365 (365)
合 計		5,951 (5,931)

●教育環境の整備促進

・幼稚園・認定こども園

(令和2年3月1日現在)

区 分	年齢別の入所児童数				
	満3歳	3歳	4歳	5歳	合 計
恵庭幼稚園	20人	53人	71人	69人	213人
島松幼稚園	6人	22人	34人	31人	93人
クラーク幼稚園	43人	94人	86人	89人	312人
第二かしわ幼稚園	25人	60人	70人	75人	230人
恵み野第二幼稚園	17人	40人	36人	52人	145人
恵み野幼稚園保育園	12人	31人	28人	40人	111人
柏学園ひまわり幼稚園保育園	21人	56人	49人	61人	187人
さくら保育園	0人	6人	4人	7人	17人
えほんの森	1人	4人	5人	6人	16人
幼稚舎えるむ	2人	3人	8人	6人	19人
えにわスマイル保育園	0人	1人	2人	2人	5人
かしわ幼稚園保育園	15人	35人	38人	42人	130人
あいおい子ども園	11人	2人	3人	0人	16人
合 計	173人	407人	434人	480人	1,494人

・特別支援教育の推進 (P. 153~154)

障がいのある児童生徒に対し、個々の教育的ニーズに応じたきめ細やかな教育を推進するため、個別支援体制の強化をはじめとした総合的な支援体制の充実を図りました。

1) 学校の支援体制

- ・校内支援委員会 ~ 全小中学校13校に設置
- ・特別支援教育コーディネーター ~ 13校に29名を指名

2) 巡回相談体制

- ・特別支援教育推進委員会 専門委員
(専門委員4名)

3) 学校補助員配置状況

(単位：校、人)

区 分	配置校	補助員数	勤務内容	対 象
小学校	8	14	1日4時間、週5日間、 年間35週間	通常学級在籍で特別な支援を必要としている児童生徒
中学校	5	6		

4) 特別支援学級補助員配置状況

(単位：校、人)

区 分	配置校	補助員数	勤務内容	対 象
小学校	6	11	週29時間勤務	特別支援学級在籍で介助を必要としている児童生徒
中学校	4	4		

5) 特別支援教育の振興 (就学先決定状況)

(単位：校、学級、人)

区 分	特別支援 学校	特別支援学級						言語 通級 学級	発達 通級 学級	合 計
		情緒	知的	肢体	難聴	病弱	計			
新入学児童	5	6	7	1	0	0	14	0	0	19
小学校在学	0	8	6	0	0	1	15	21	60	96
新入学生徒	2	7	7	0	0	0	14			16
中学校在学	0	0	2	1	0	0	3			3
計	7	21	22	2	0	1	46	21	60	134

・児童生徒の相談体制の充実 (P. 152)

全小中学校児童生徒を対象としたいじめや不登校等の問題への対応と未然防止のため、メンタルフレンド事業の普及やスクールソーシャルワーカーの配置をはじめ相談体制の充実を図りました。

1) 非行少年の状況

(単位：人)

区 分	R01年度			H30年度			比 較		
	不良 行為	触法 行為	計	不良 行為	触法 行為	計	不良 行為	触法 行為	計
小 学 生	4 (1)	6 (6)	10 (7)	15 (6)	10 (4)	25 (10)	△ 11 (△5)	△ 4 (2)	△ 15 (△3)
中 学 生	23 (7)	4 (0)	27 (7)	32 (7)	1 (0)	33 (7)	△ 9 (0)	3 (0)	△ 6 (0)
高 校 生	1 (1)	0 (0)	1 (1)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (1)
有職無職青年	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
そ の 他 学 生	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
合 計	28 (9)	10 (6)	38 (15)	48 (13)	11 (4)	59 (17)	△ 20 (△4)	△ 1 (2)	△ 21 (△2)

* () 内は女子数

2) 電話相談件数

相談件数 14件 (前年度比12件増)

3) スクールカウンセラー活用事業

- ・スクールカウンセラーの配置 (6名)

拠点校：13校 (市内全小中学校)

勤務時間数：中学校654時間 (内、北海道スクールカウンセラー派遣事業：420時間)

小学校762時間、市民会館での教育相談29時間

相談内容別相談件数

(単位：件)

相談内容	いじめ	不登校	友人関係	家庭環境	その他	合 計
相談件数	2	351	43	111	1,094	1,601

相談者別相談件数

(単位：件)

相談者	児童生徒	保護者	教職員	その他	合 計
相談件数	151	352	477	621	1,601

4) 不登校児童生徒の適応指導教室

- ・指導員の配置 専任3名
- ・通室状況 小学生5人・中学生22人通室
- ・学校復帰 完全復帰1人、不定期登校・別室登校9人

5) メンタルフレンド事業

- ・不登校対策として、学生等ボランティアとスクールカウンセラーが相談役となり、ひきこもり等の児童生徒の自主性、社会性の向上に取り組みました。

ボランティア登録者数 (北海道文教大学・北海道ハイテクノロジー専門学校の学生)

22名 (女性17名、男性5名)

派遣実績：中学生2件…メンタルフレンド2名派遣

6) なかよしさわやかDAY全市交流会

- ・「いじめをなくすためにみんなでできること」をテーマに、市内小中学校の代表者が一堂に会し、グループ協議、発表を行いました。

実施日：令和元年7月16日 参加者101人（うち小学生38人、中学生18人）

・学力向上推進事業（P.154～155）

- ・学力・体力向上推進会議の設置

委員：9名 開催日：7月23日、9月5日、2月14日

- ・学力向上アドバイザーの設置 1名
- ・標準学力検査（NRT）の実施（小学校2～6年生、中学校全学年）
- ・英検IBA（英語力の測定）の実施（中学校全学年）
- ・地域人材の活用 小学校外国語授業 個人3名、1団体
体育授業等実技支援 2団体（延べ13校、45回）

・小・中学校環境整備事業（P.160～161・164～165）

- ・恵庭小学校長寿命化改良事業 156, 579千円
- ・和光小学校東校舎防音機能復旧事業 1, 383千円
- ・恵み野旭小学校校舎・講堂石綿対策事業 781千円
- ・恵み野旭小学校屋上防水改修事業 42, 881千円
- ・小学校防災力向上事業 84, 238千円
- ・若草小学校改修事業 1, 280千円
- ・恵み野中学校トイレ改修事業 59, 735千円
- ・恵北中学校増築校舎・講堂防音機能復旧事業 2, 767千円
- ・柏陽中学校校舎・講堂防音機能復旧事業 33, 348千円
- ・恵み野中学校校舎・講堂石綿対策事業 857千円
- ・中学校防災力向上事業 119, 317千円

・ICT教育環境整備事業（P.156・160～161）

- ・市内小学校に電子黒板を整備（和光小学校、若草小学校） 43, 924千円
電子黒板等 49台
- ・市内中学校のPC教室機器更新整備（恵北中学校、恵明中学校、 30, 108千円
柏陽中学校、恵み野中学校）
タブレット型PC 164台、サーバ 4式、電子黒板 4台

・放送機器整備事業（P.162）

12, 477千円

- ・アナログ放送機器のデジタル化更新整備（恵庭中学校）

・学校における食農教育の推進（P.156～157）

一般財団法人恵庭市学校給食協会に学校給食事業を業務委託し、市内小・中学校の完全給食を実施しました。また、栄養教諭の授業による食育の推進、家庭への「給食だより」「しょくいく」配布や給食協会ホームページへの給食献立等の掲載により、市民への情報発信と食育の啓蒙を実施しました。

1) 小学校給食

- ・センター稼働日数 187日、実施学校 市内全校（8校）

<実施状況>

（単位：回、食）

学年	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	食数	702,241
実施回数	167 ～172	171 ～176	171 ～176	172 ～176	171 ～173	169 ～174		

2) 中学校給食

- ・センター稼働日数 179日
- ・実施学校 市内全校（5校）

<実施状況>

学年	1年生	2年生	3年生	食数	354,634
実施回数	172 ~178	170 ~175	168 ~173		

3) その他

- ・給食だより・しょくいく発行：毎月発行4月～3月（12ヵ月）
- ・協会ホームページへの掲載：毎月の給食献立及び食育情報
- ・市ホームページへの掲載：主要な食材の産地等情報

・小・中学校給食センター施設整備事業（P.157）

- ・小学校給食センター厨房用設備更新事業 7,645千円
- ・中学校給食センター給水系統設備更新事業 1,923千円
- ・中学校給食センター蒸気ボイラー更新事業 1,760千円
- ・中学校給食センター食器類洗浄機タッチパネル操作盤更新事業 4,070千円

目標17 手を取り合い創造性を育む文化芸術

世代を超え、誰もが文化芸術活動に気軽に参加できるようなコミュニティづくりを
図り、活動がつながり、支えあう仕組みづくりと全市民が一体となった文化芸術の振
興を行うため、学校・社会教育施設と文化芸術活動団体等との連携の強化、文化芸術
の担い手やボランティアの育成に努めました。

●公共施設の活用と市民の活力を生かした文化芸術活動の推進

身近な施設を活用した地域コミュニティ活動や青少年の育成のための体験や学習、遊びの
機会拡充など、市民の幅広い学習活動が展開できる環境整備に努めました。

・寿町会館防音機能復旧事業 (P. 173)

・老朽化したボイラー等の機能復旧 37,151千円

・市民会館設備改修事業 (P. 173)

・老朽化したテーブル及び椅子の更新整備 2,904千円

・市民講座・公民館サークル活動の充実 (P. 173~174)

(単位：講座・人)

講座事業名	事業数	受講者数
市民講座	16	323
IT講習会	12	56
日曜趣味講座	4	48

(単位：日・人)

教室事業名	講座	受講者数
親子ふれあい教室	3	69
みんなで楽しむ ピアノコンサート	2	205

・図書資料の充実 (P. 174)

1)蔵書冊数の現況

(単位：冊)

区分	一般書	児童書	小計	雑誌	合計
本館	160,625	40,518	201,143	11,367	212,510
恵庭	30,459	16,535	46,994	1,029	48,023
島松	22,043	9,588	31,631	458	32,089
計	213,127	66,641	279,768	12,854	292,622

2)貸出状況

(単位：冊)

区分	利用者数	一般書	児童書※	雑誌	計	開館日数	一日平均
本館	108,217	243,718	129,428	24,621	397,767	284	1,400.6
恵庭	32,389	74,408	58,517	4,574	137,499	281	489.3
島松	12,357	34,464	20,707	2,032	57,203	281	203.6
黄金	1,546	1,650	538	173	2,361	311	7.6
かしわ	707	882	305	88	1,275	311	4.1
北高	63	100	34	0	134	-	-
南高	21	47	4	0	51	-	-
計	155,300	355,269	209,533	31,488	596,290	-	2,105.2

※絵本、紙芝居は児童書に含む

3)団体貸出状況

(単位：冊)

区分	登録団体数	利用団体数	貸出冊数
本館	376	97	17,202
恵庭			7,772
島松			844
計			25,818

4)レファレンス(資料相談)状況

(単位：件)

区分	件数
本館	17,663
恵庭	8,548
島松	5,734
計	31,945

5) 予約リクエストサービスの状況

(単位：冊)

区分	所蔵資料の 受付件数	未 所 蔵									計
		購入	道立	札幌	道内他館	道外	国立国会	大学図書館	提供不可	小中学校	
本館	4,870	272	152	91	258	40	10	3	0	0	826
恵庭	3,498	222	45	47	53	7	12	1	0	0	387
島松	3,274	168	26	10	61	0	0	0	0	0	265
計	11,642	662	223	148	372	47	22	4	0	0	1,478

6) インターネット予約サービス

・受付件数：24,565件

・市内配本サービスの充実

配本車による図書館と学校間の全域利用状況

・学校への貸出冊数 13,620冊
 ・学校間の貸出冊数 2,538冊

・長寿大学の推進

生涯学習社会にふさわしい学習機会を提供し、生きがいくりと健康で楽しい生活を送られるよう長寿大学を実施しました。

・授業日数 18日 ・学生総数 218人

・えにわ学講座の推進

多様なジャンルから総合的に学び、ふるさとの魅力を発見し、豊かな文化の継承と住みよいまちづくりを進める学び場としてえにわ学講座を開催しました。

・開催日数 2日 ・参加者数 53人

・リカレント公開講座の推進

大学で開催される市民向け講座を受講する高齢者に対して長寿大学の単位を認定するなど、市民の生涯学習意欲の向上を図りました。

(北海道文教大学公開講座)

・23講座 553人受講

(近畿大学公開講座)

・2講座 131人受講

・家庭教育支援事業

学齢期・思春期の子どもを持つ親が子どもの成長、発達の中でどのように子どもと関わるべきか学び、家庭内教育力の向上を図りました。

・えにわままっぶ 令和2年1月19日 参加者数 28組64人

・女性教育振興事業

女性の積極的社会参加や市民活動への関心を深め、女性による活発な活動によって地域活性化を図るためセミナー等を開催しました。

・女性団体活動者研修会 令和元年7月25日 参加者数 45人

・生涯学習施設かしわのもり利用状況

開館日数 311日 利用人員 41,057人

利用内容 スポーツ練習場 29.2% 子どもひろば 18.6%

子育て支援 18.9% その他 33.3%

・夢創館の活用 (P. 167)

夢創館の活性化を図るため、自主文化事業をはじめ各文化団体と市が連携し事業を実施しました。

開館日数	330日	利用団体数	193団体	利用人数	10,805人	利用日数	176日
------	------	-------	-------	------	---------	------	------

指定管理者 開催文化事業	岸田典大ミュージカル風読み聞かせ	参加者90人
	オーロラ上映私たちに語りかけるすてきなメッセージ	参加者100人
	手作り雑貨マーケット (2回)	参加者304人
連携等事業	小中学校書写展	参加者1,513人
	夢創館コンサートVI	参加者110人
	三匹の子ぶたちちゃん平成道産子組恵庭落語会	参加者90人
	Bill Ringsコンサート	参加者120人

・郷土芸能団体の育成 (P. 166)

郷土芸能団体を育成し活動を安定的なものにするため支援しました。

- ・ 恵庭すずらん踊り保存会事業補助金 1 4 5 千円
- ・ 恵庭岳太鼓保存会補助金 1 2 1 千円

・史跡カリンバ遺跡の整備 (P. 171)

4, 3 0 2 千円

カリンバ遺跡について、史跡整備と土中に埋蔵されている漆製品等の保護等に役立てるため、水文環境調査・分析を行いました。また、史跡境界標の設置と史跡排水溝の改修工事を行ったほか、史跡保護等の啓発を目的に花壇整備や講演会、体験学習等をボランティア団体等と共同で開催しました。

・市内遺跡の発掘調査等 (P. 171~172)

1, 6 6 5 千円

・各種開発確認事業

遺跡名	発掘等原因	面積	時代	出土遺物
ユカンボシE1遺跡外9遺跡	個人住宅等	212.2㎡	縄文・続縄文・擦文	約700点

- ・埋蔵文化財保護のための事前協議 27件 (西島松13遺跡等)
- ・埋蔵文化財包蔵地の照会 106件 (島松仲町遺跡等)

・金属製品保存処理事業 (P. 172)

1, 9 6 0 千円

- ・アイヌ文化期土抗墓出土の太刀等5点の再保存処理

・郷土資料館の運営・事業 (P. 170~171)

- ・入館者数 6, 7 4 0 人 (前年度比△9 8 1 人)

(学習会等開催状況)

(単位：人、回)

区 分	R01年度	H30年度	比 較
学習会参加者数 (回数)	1,347 (31)	964 (22)	383 (9)

●生涯を通じてだれもが文化芸術活動を行える環境づくり

文化団体を育成支援し、市民が芸術活動を発表する場や機会などの環境を整備するとともに、芸術鑑賞機会の拡充を図りました。

・芸術鑑賞機会の充実

- ・えにわ市民文化祭出展・出演状況 (開催日：令和元年10月11日～11月3日)

会 場 (単位：団体、人)	団体数		個人数		入場者数	
	展示	舞台	展示	舞台	展示	舞台
市民会館	50	31	639	448	1,594	2,442
島松公民館	8	19	84	321	1,615	1,900
夢創館	3		30		329	

・文化団体の育成支援 (P. 166～167)

文化団体を育成し活動を安定的なものにするため支援しました。

- ・ 恵庭市文化協会補助金 350千円
- ・ 文化活動奨励補助金（3団体） 231千円

・えにわ芸術文化宅配事業 (P. 166～167)

市民に地元作家の芸術作品の鑑賞機会を提供する事業であり、登録作品のリストを作成し、貸出業務を行いました。

- ・ 登録作品数 ～ 絵画40点、書26点、写真54点、アート書道8点、パッチワーク24点
- ・ 展示箇所 ～ 47箇所（工場、金融機関、飲食店、事業所等）

・学習支援体制の充実

市民の一人ひとりが生涯を通じて学ぶことができるよう、関係機関や団体と連携して学習機会や学習情報の提供、指導者の養成や学習ボランティア活動への支援や人材の育成に努めながら、総合的な学習活動の推進を図りました。

・海外都市交流の促進 (P. 71)

令和元年度は、恵庭市国際化の指針及び恵庭市国際化推進アクションプランに基づき、多様な交流を通じた世界に開かれた地域づくりと市民と地域の外国人にとって住みよいまちづくりに取り組みました。また、「北海道における外国人材の受入支援モデル地域」に採択され、関係団体の情報共有等の場として「多文化共生のまちづくり連絡協議会」を設置し、多文化共生事業を推進しました。

- ・ 自治体国際化協会地域国際化推進アドバイザー派遣事業を活用した事業

事業：災害時における「やさしい日本語」の活用講話

対象：柏陽中学校全校生徒、市民

開催日：令和元年10月26日 参加者：約300人

- ・ 多文化共生のまちづくり連絡協議会の設置（7団体、23名で構成）

開催日：令和元年12月3日、令和2年2月6日

- ・ 在住外国人へのアンケートの実施

期間：令和2年2月6日～2月20日 回収：122名

- ・ 自動翻訳機の活用数

窓口等における多言語対応のための貸し出し件数：12件

・恵庭市史の編さん (P. 58)

8,571千円

恵庭市史編さん委員会の開催

- ・ 第1回恵庭市史編さん委員会 令和 元年 6月 6日 出席者10名
- ・ 第2回恵庭市史編さん委員会 令和 元年 8月 29日 出席者10名
- ・ 第3回恵庭市史編さん委員会 令和 元年10月 31日 出席者 9名
- ・ 第4回恵庭市史編さん委員会 令和 元年12月 19日 出席者 8名
- ・ 第5回恵庭市史編さん委員会 令和 2年 2月 6日 出席者 9名

資料収集

- ・ 令和元年度中収集資料 18点（寄贈・資料提供含む）

執筆原稿の校正

・ 自然・地勢、通史、林業、内水面漁業・養殖業、観光、道路・公園、上下水道事業、交通・運輸、通信・情報、環境と衛生、災害と防災、小中学校の環境づくり、市内の小中学校、保健市民の理解と協力の取り組み

- ・ 新聞を通じた情報発信 年2回

基本目標Ⅴ 地域資源・都市基盤を活かすまち

目標18 地域の特性を活かしたコンパクトなまちづくり

恵庭・島松・恵み野駅を地域の中心とし、地域の特徴を生かしたコンパクトな市街地整備を進めるとともに、自立した都市として商業・業務・工業・文化・学ぶ・にぎわいなどの都市機能の充実をめざした計画的なまちづくりを進め、だれもが安心安全に暮らすことができる利便性の高い都市機能の集積と都市基盤の整備を進めました。

●駅周辺のまちづくり - 地域の特色を活かした「エリアマネジメント」の推進

J R 駅周辺を地域拠点として位置づけ、都市機能の集積を目指すとともに、郊外部における新たな市街地開発を抑えたコンパクトなまちづくりを進めました。

・恵庭駅西口土地区画整理事業 (P. 250)

264,022千円

道路整備に支障となる建物の移転補償を行い、都市計画道路整備を推進しました。

・島松駅周辺再整備事業 (P. 142)

2,715千円

北海道運輸局、J R 北海道、恵庭市の3者で構成される“恵庭市生活交通改善事業計画策定協議会”において、「JR千歳線島松駅生活交通改善事業計画」を策定し、J R 北海道により島松駅のバリアフリー化に着手しました。

・バリアフリー特定事業 (P. 140)

70,027千円

バリアフリー基本構想に基づき、公共施設や都市公園、商業施設及びその経路のバリアフリー化を進めました。

・実施路線

恵み野団地中央通 (歩道)

L = 175m W = 4.5m × 2

・西島松地区土地利用推進事業 (目標13に別掲)

昨年度の基礎調査に基づき、開発予定事業者や地権者と協議を実施しました。

目標19 水と緑豊かな生活空間づくり

恵庭の恵まれた自然環境、水資源、景観を活かした生活環境を維持していくため、自然景観の保全と農村景観の維持に努めました。

また、基地との共存をめざし、市内3駐屯地の体制維持、強化を引き続き要請し、併せて防衛施設の設置・運用により生じる障害軽減や緩和を図る防災・防音・民生安定施策を推進し、周辺地域の生活環境向上に努めました。

●水・緑など恵庭の魅力の維持

・小学生ふるさと景観絵画コンクール (P. 154)

市民が景観に対して意識や関心を持ち、主体的な景観作りを定着させるため市内小学生を対象に「ふるさと景観絵画コンクール」を実施しました。

- ・表彰作品展示期間 令和元年9月25日～10月1日
- ・市長賞1名、教育長賞1名、審査員特別賞1名、優秀賞7名、佳作12名

・水と緑のまちづくり推進事業 (P. 134～135・143～144)

市民植樹・記念樹の贈呈・花苗植栽等による環境美化事業を行い、水と緑のまちづくり推進について、市民と協働し取り組みました。

- ・記念樹贈呈事業 新築・誕生・結婚記念 イチイ31本、ハスカップ267本
- ・市民植樹 公園・緑地帯 アジサイ60本
- ・花壇植栽事業 グリーンベルト花壇・黄金フラワーロード・国道36号
- ・公共施設花樽設置事業 市庁舎・支所・出張所、図書館等各施設
- ・緑の少年団支援事業 松恵小学校3・4年生 ハスカップ20本

・街路樹剪定事業 (P. 139・143)

19,602千円

幹線道路沿線の街路樹について、計画的に剪定等を行い、快適な道路環境の維持に努めました。

・植樹樹・植樹帯管理助成事業 (P. 139)

1,668千円

地域の環境改善や道路沿線の美化の促進のため、植樹樹・植樹帯の美化活動を実施した団体へ助成を行い、緑豊かで潤いのある街づくりを推進しました。

令和元年度実施団体：35団体

・公園施設長寿命化改修事業 (P. 143)

31,562千円

公園遊具改修 9公園10施設

・街区公園美化活動助成金 (P. 143)

1,483千円

助成対象町内会 15町内会 29公園

・河川愛護会補助金 (P. 142)

143千円

・千歳川流域の治水対策の促進

千歳川河川整備計画に基づき、千歳川流域治水対策の早期実現に向けて国、道、流域自治体が連携して事業の促進を図ります。

・恵庭かわまちづくり事業 (P. 66)

339千円

花の拠点関連事業として公園と一体化する河川・水辺の環境・景観形成を図ります。
樹木伐採工

●市民ニーズに対応した適正な墓所の確保

- ・ 恵浄殿改修事業 (P. 114) 46,930千円
 恵浄殿改修計画に基づく主な改修
 - ・ 3号炉 耐火ベッド交換、オイルポンプユニット等交換
 - ・ 給排水設備改修、中央監視システム改修

- ・ 新墓園整備事業 (P. 289) 6,432千円
 ・ 植樹祭及びその他恵庭第4墓園に係る経費

- ・ 墓園整備事業 (P. 289) 21,615千円
 ・ 恵庭第1墓園 改修(階段手摺設置) トイレ新築
 ・ 恵庭第3墓園 改修(張芝)

●防衛施設周辺整備等事業の推進

防衛施設が設置されていることにより生じる障害を防止し周辺地域における生活環境の向上を図りました。

- ・ 防音(防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律第3条第2項)
- ・ 民生安定施設整備(防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律第8条)

(単位：千円)

事業名	種別	事業費	補助金	その他
和光小学校東校舎防音機能復旧事業費	防音	1,383	1,234	149
恵北中学校増築校舎・講堂防音機能復旧事業費	防音	2,332	2,097	235
柏陽中学校校舎・講堂防音機能復旧事業費	防音	33,340	30,004	3,336
寿町会館防音機能復旧事業費	防音	37,103	19,561	17,542
図書館防音機能復旧事業費	防音	124,443	73,233	51,210
焼却施設整備事業費	民生安定	931,908	465,954	465,954
花の拠点整備事業費	民生安定	105,270	60,334	44,936
合計		1,235,779	652,417	583,362

※事業費は補助事業費とし、補助基本額以外の関連事務経費を含む。

・ 国有提供施設等所在市町村助成交付金 (P. 20)

区分	交付額(千円)
R01年度	250,238
H30年度	250,238
比較	0

・ 特定防衛施設周辺整備調整交付金(防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律第9条) (P. 20)

区分	交付額(千円)
R01年度	337,915
H30年度	342,207
比較	△ 4,292

・ 特定防衛施設周辺整備調整交付金事業の推進

(単位：千円)

事業名	事業費	調整交付金	その他
道路整備事業	48,464	45,316	3,148
消火栓更新整備事業	10,880	9,782	1,098
はしご付消防ポンプ車更新整備事業(基金造成)	11,613	11,613	0
ICT教育整備事業(小学校電子黒板)	43,924	39,706	4,218
消防団資器材整備事業	1,252	1,146	106
消防用資器材整備事業	2,733	2,543	190
学校給食センター厨房用設備更新事業	11,715	7,909	3,806
花の拠点整備事業(松園線道路整備)	46,816	46,300	516
恵浄殿改修事業	40,601	36,635	3,966
中学校パソコン教室機器更新整備事業	30,108	29,005	1,103
和光水泳プールろ過機改修事業	8,525	7,940	585
子ども医療費助成事業費	33,000	33,000	0
恵庭中学校放送機器整備事業	12,477	11,422	1,055
学校給食センター給水系統設備更新事業	1,923	1,791	132
ロータリー除雪車更新整備事業	26,675	26,400	275
防災行政無線更新整備事業	2,970	2,940	30
学校給食センター施設整備更新事業	1,760	1,633	127
最終処分場ブルドーザー整備事業	20,944	20,734	210
市民会館設備整備事業	2,904	2,100	804
合計	359,284	337,915	21,369

※事業費には調整交付金基本額以外の関連経費を含む

目標20 安全で円滑な地域交通

市民と行政が一体となり、それぞれの役割を担う市民協働の体制により、少子高齢化・人口減少社会に対応した利便性の高い道路整備、公共交通ネットワークの推進を図りました。

●除排雪の維持

・除雪の状況 (P. 138~139)

区 分	延 長 (km)						出動日数(日)	
	車道(直営)	車道(委託)	車道計	歩道(直営)	歩道(委託)	歩道計	直営	委託
R01年度末	154.5	386.7	541.2	50.3	140.3	190.6	34	15
H30年度末	154.5	386.8	541.3	50.3	139.0	189.3	41	12
比 較	0.0	△ 0.1	△ 0.1	0.0	1.3	1.3	△ 7	3

・高齢者除雪サービス事業 (目標9に別掲)

高齢者世帯など除排雪作業が困難な方へ、地域ぐるみのボランティアなどによる支援を行いました。

●身近な市民の足の確保 (新公共交通システムの構築)

第2次恵庭市地域公共交通総合連携計画、及び第2次恵庭市駐車場・駐輪場基本計画に基づきコミュニティバス及びコミュニティタクシーの利用促進、市民駐車場・駐輪場の適切な管理及び利用拡大に努めました。

・新公共交通システムの構築 (P. 59~60)

88,290千円

えにわコミュニティバスの再編及び乗合タクシー運行地域の見直しによる本格運行を開始しました。乗継券制度、高齢者割引、スマートフォン定期券を導入し、利便性向上を図りました。

・地域公共交通活性化協議会 : 2回開催

(えにわコミュニティバス運行状況)

路 線	便 数 ()は土・日・祝日	乗車人数 (人)	1日平均 乗車人数(人)	運賃・回数券・ 定期券収入(円)
A・Bコース	46便(27便)	322,694	884.1	53,998,985

(乗合タクシー運行状況)

便 数	乗車人数 (人)	1日平均 乗車人数(人)	運賃・回数券 収入(円)
7便	9,661	33.4	1,498,400

・市民駐車場・駐輪場の管理 (P. 59・301)

恵み野高架下東・西駐車場の区画線塗布を実施しました。

・有料駐車場状況

(単位:台)

駐車場名	面積(m ²)	供用開始年月日	収容台数	利用台数
恵庭駅東口	2,907	H19.10.1	105	35,135
恵み野駅東口	3,385	H19.12.1	125	25,259
島松駅横	3,090	H19.12.1	109	28,039
恵み野跨線橋高架下東	3,977	H21.1.1	72	18,805
恵み野跨線橋高架下西	3,305	H21.1.1	73	10,666
恵庭駅西口	2,142	H22.11.1	83	32,937

・駐輪場状況

(単位:台)

駐輪場名		収容台数	駐輪場名		収容台数
恵庭駅	東口	456	恵み野駅	東口	738
	西口高架下	396		西口	400
	西口屋内	550	島松駅		422

・放置自転車対策 (P. 59)

1,050千円

●橋梁耐震化など生活道路の維持

都市の骨格となる幹線道路の整備により地域間の連携を図るとともに、道路改良や維持修繕、歩道の整備により、安全な交通の確保と沿道の環境整備を進めました。

・道路・街路整備事業 (P. 140~141)

- 1) 生活道路整備事業 (調整交付金事業) **48,464千円**
 1路線、改良舗装工事他 L = 278.73m
- 2) 生活道路整備事業 (地方道路等整備事業) **41,835千円**
 2路線、改良舗装工事 L = 231.77m

市道の舗装状況

区分	実延長(m)	舗装延長(m)	舗装率(%)
R01年度末	534,220	395,172	74.0
H30年度末	533,723	393,576	73.7
比較	497	1,596	0.3
増加率(%)	0.1	0.4	0.4

・道路補修事業 (P. 139~140)

- 1) 道路舗装補修事業 **97,434千円**
 恵み野地区・柏陽地区 車道オーバーレイ A = 14,245m²
 歩道舗装補修 A = 1,281m²
- 2) 道路施設補修事業 **9,207千円**
 道路排水施設の実施
- 3) 道路附属施設補修事業 (社会資本整備総合交付金事業) **5,918千円**
 照明灯修繕6基 (自立式3基、電柱共架式3基)

	既設照明灯数 (基)	うち水銀・ナトリウム灯 (基)	うちLED灯 (基)	電力使用料 (千円)
R01年度	2,199	1,977	222	49,474
H30年度	2,200	1,988	212	49,573
比較	△1	△11	10	△99

・橋梁長寿命化事業 (P. 139~140)

230,250千円

橋梁補修工事3橋、橋梁補修設計1橋、橋梁調査1橋 (212,681千円)
 橋梁点検62橋 (26,569千円)

・南26号交差点改良事業 (P. 141)

10,901千円

国道36号との交差点の渋滞緩和のため、右折車線設置に向けて実施設計を行いました。

・自転車の利用促進と恵庭市の魅力発信 (P. 64)

2,500千円

自転車に関する関心を高め、自転車の利用促進と、恵庭を知って、見て、感じてもらい、地域活性化を図ることを目的とした自転車イベントを開催しました。

- ・サイクルフェスタ・恵庭2019：令和元年9月22日
 参加者256人 (市内45人、市外206人、道外5人)

目標21 安定した水供給と持続的な下水処理

人口減少社会を見据えた効率的な事業運営のため、安全で良質な水道水源の確保と保全の維持及び、下水の適正処理と下水道資源の有効活用に努め、持続可能な循環型社会の構築を目指しました。

●人口減少社会を見据えた効率的な上下水道事業の運営

将来推計人口や現状施設の状況を見据えた事業計画に基づき、令和元年度も効率的な上下水道事業の運営に取り組みました。

- ・ 恵庭市水道ビジョン(平成24年4月策定 計画期間 平成24年度～令和3年度)
- ・ 恵庭市水道事業経営戦略(平成27年4月策定 計画期間 平成27年度～令和6年度)
- ・ 恵庭市公共下水道事業基本計画(平成29年3月策定 計画期間 平成29年度～令和2年度)
- ・ 恵庭市下水道事業経営戦略(平成30年5月策定 計画期間 平成30年度～令和9年度)

●長寿命化事業・耐震化事業・分流化事業による、既存施設の質の改善、安定的・持続的な上下水道の運営

災害に強いライフラインをめざし、事故や災害に備えた危機管理体制の強化と、上下水道設備の耐震化や長寿命化事業を進めました。

・配水管等整備事業 (P. 350～351)

- | | |
|-------------------|------------|
| 1)配水管布設工事 | 5, 218千円 |
| ・φ50～φ100 L= | 132.1m |
| 2)配水管布設替工事 | 254, 459千円 |
| ・φ50～φ250 L= | 6, 390.6m |
| 3)メーター取替工事等 | 56, 127千円 |
| ・検満メーター取替 | 4, 259個 |
| 4)その他工事 | 5, 649千円 |
| ・増圧ポンプ場非常用発電機設置工事 | |

・緊急貯水槽整備(目標13に別掲)

- ・ 花の拠点整備工事 工事監理等委託業務

・下水道管渠等の整備 (P. 405)

304, 234千円

- ・ 污水管整備(分流化)、合流管更生工事(長寿命化)、公共枮等整備(枮新設)、マンホールポンプ設置(新設)

[相生、緑町、福住、島松旭町外]

分流化	:	污水管φ150～φ300mm	L=1, 626.65m
污水整備	:	污水管φ75～φ200mm	L=242.14m
長寿命化	:	雨水管φ250～φ300mm	L=92.93m
浸水対策	:	雨水管φ250～φ400mm	L=113.37m
枮新設	:	污水枮新設	N=7基

・ **公共下水道 整備及び水洗化状況**

区 分	R01年度末	H30年度末	比 較
認可区域 (ha)	1,881.4	1,881.4	0.0
整備済区域 (ha)	1,866.2	1,853.7	12.5
整備率 (%)	99.2	98.5	0.7
処理区域内人口 (普及人口) (人)	68,205	67,912	293
水洗化人口 (人)	68,063	67,776	287
水洗化率 (%)	99.8	99.8	0.0
水洗化戸数 (戸)	21,340	21,107	233

・ **下水終末処理場整備事業 (P. 406)**

1) 乾燥施設建設工事 **702,700千円**

・ 乾燥施設建設工事委託に関する協定

2) 廃熱利用施設建設工事

・ 廃熱利用施設建設工事委託に関する協定

・ **個別排水処理施設整備事業 (P. 406)**

9,045千円

・ 新設 5基 (5人槽 5基)

・ **マイクロガスタービンによる発電**

下水汚泥、し尿・浄化槽汚泥、生ごみを集約混合することで消化ガス発生量を増やし、そのガスを利用した場内発電を行うことで、エネルギーの有効活用を図りました。

・ 令和元年度発電量実績 1,439,918kWh

目標22 住み続けたいくなるまちづくり 住まいづくり

少子高齢化社会や循環型社会に対応した、良好で安全安心な住環境及び都市環境の向上のため、良質な居住水準の確保と、市営住宅の担うべき役割を踏まえた住宅のストックや各種整備に努めました。

・市営住宅の管理

住生活基本計画及び公営住宅等長寿命化計画に基づき、既存住宅の修繕・改修工事の実施や、柏陽・恵央団地建替事業の推進を図るため、民間賃貸住宅の有効活用を目的とした調査、他の市営住宅への移転などを実施しました。

・市営住宅改修事業 (P. 144～145)

87, 121千円

福住団地2号棟屋根外壁改修工事

給水メーター取替工事

(旭団地4号棟、寿第1団地2号棟・3号棟)

・市営住宅維持修繕 (P. 144～145)

29, 075千円

新規入居者用修繕 14室

平成30年度より実施している民間事業者への一括委託化により、初期対応及び緊急性判断などを迅速に行うことが可能となり、市営住宅管理業務の効率化を図っております。

・市営住宅柏陽・恵央団地建替事業 (P. 144～145)

29, 118千円

建替事業へ向けて用地測量、柏陽団地入居者の移転を実施しました。

・令和元年度末市営住宅管理戸数

(単位：戸)

名称	建築年度	戸数	形式
柏陽団地	S46～S52	328	1LDK, 2DK, 2LDK, 3DK
恵央団地	H15～H24	182	1LDK, 2LDK, 3LDK
旭団地	S52～S54	166	3DK
桜町団地	H3～H10	228	2K, 2DK, 2LDK, 3LDK
福住団地	S56	32	3DK
若草団地	S53～S59	28	3DK
有明団地	H元	33	2K, 2DK, 3LDK
寿第1団地	S54～S55・H14	58	1LDK, 2LDK, 3DK, 3LDK
寿第2団地	S41～S42	37	2DK
寿第3団地	S49～S50	22	2DK, 3DK
恵み野南団地	S60・H13	48	2DK, 2LDK, 3LDK
計		1,162	

目標23 ごみの減量と適正な処理

環境負荷低減及び持続可能な循環型社会を形成するため、市民・事業者・行政の役割分担と協働により、ごみの低減化・リサイクルを促進するとともに、適正なごみ処理体制の維持のため施設整備及び施設の老朽化対策を進めました。

●ごみ処理施設の整備

・焼却施設整備事業 (P.120～121・275～276) 1, 264, 252千円

最終処分場の延命化や可燃ごみの適正処理など、循環型社会の形成を実現する上で重要な役割を担う焼却施設整備が令和元年度で完了し、令和2年4月1日より本稼働しております。

また、継続的に焼却施設の整備について周辺地域や市民を対象とした説明会等を開催しました。

・説明会等の実施状況：説明会	3回	出席者47人
焼却施設等周辺地域連絡会議	1回	出席者19人
焼却施設見学会	4回	出席者22人

・ごみ処理場ブルドーザ更新 (P.118～119・275) 29, 920千円

ごみ処理場の整地作業に必要なブルドーザを購入しました。

●ごみ減量化の推進、資源リサイクルの推進

市民、事業者、行政の役割と協働により、ごみの減量化とごみ分別を徹底するとともに、資源リサイクルを推進し、環境保全と持続可能な資源循環型社会の形成を目指しました。

・家庭ごみ有料化事業・ごみ発生排出抑制対策の実施 (P.118～120)

1) 家庭ごみ有料化事業の実施

- ・ごみ減量率 18.2% (可燃・生ごみ・不燃・粗大・資源収集ごみ)
- ※有料化前の平成21年度対比

2) ごみ減量化や資源物収集に関する思想普及の取組み

- ・定期リサイクル啓発紙「もっともっとリサイクル」(年1回発行、271千円)
- ・ごみ減量・リサイクル推進地区懇談会 (コロナウィルス感染防止のため中止)

3) ごみ分別変更に伴う説明会の開催

- ・事業者説明会 (参加者150名)

4) 資源回収奨励事業

区 分	数量	備考
集団資源回収量 (t)	1,920	集団資源回収量内訳
資源物分別収集量及び直接搬入量 (t)	2,408	紙類: 1,840.0 t
資源回収団体奨励金交付事業		(うち紙製容器) 72.0 t
実施団体	76	ペットボトル・ビン・缶:
交付額(千円)	6,014	51.0 t
資源物全体に対する割合 (%)	44.3	その他: 29.0 t

5) ごみカレンダー配布事業

- ・ごみカレンダー全戸配布

目標24 次世代へつなげる環境

市民・事業者・行政が一体となり、「きれいなまちづくり」や、より良い環境を次世代に確実に引き継ぐ循環型社会の構築を図り、新エネルギー・省エネルギーについての調査、研究を進めました。

●地域環境美化活動への支援

・環境美化活動の推進

ボランティア袋の配布

窓口	22,950枚
町内会	33,530枚

環境美化等推進員
登録件数

町内会	62町内会・自治会
人数	86名

集合住宅ごみ等
優良保管場所累計認定件数

件数	35件
----	-----

・不法投棄防止パトロール

通常パトロール：236日間（2人体制）

管理職パトロール：10日間（延べ40人）

●地域に応じた自然環境の保護と管理

近年の産業活動や自動車などを発生源とする各種の公害から、市民の健康を守り良好な生活環境を維持するために、大気・水質等の調査・測定・監視や騒音・振動・悪臭等の発生防止のための指導等を実施しました。

・水質汚濁調査（P.113）

定期河川水質調査：市内7河川10カ所（年6回）、追加調査：柏木川6ヶ所（年1回）

ゴルフ場農薬検査：市内3ゴルフ場（年1回）、地下水調査：5ヶ所（TPH試験及び油臭検査1回）

・自動車騒音常時監視委託（P.113）

騒音測定：恵庭岳公園線、島松停車場線（美咲野3丁目、島松東町3丁目）

面的評価：恵庭岳公園線、島松停車場線 調査区間10Km

（盤尻、牧場、美咲野、島松仲町、島松東町、島松寿町）

・悪臭調査（P.113）

悪臭防止法に基づく臭気物質濃度及び臭気指数の調査

（1事業所、2回）

●省資源・省エネルギーの促進

「恵庭市 COOL CHOICE 宣言」に基づく地球温暖化対策に資する情報発信、環境省の補助金を活用した“地域と連携したCO₂排出削減促進事業”、省エネ機器導入促進を目的とした“恵庭市低炭素まちづくり促進事業”等を実施しました。

・環境審議会の開催（2回）

えにわ環境・エネルギー展、低炭素まちづくり促進事業補助金や地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の実績について協議しました。

・恵庭市低炭素まちづくり促進事業（P.114～115）

省エネ関連機器を導入する市民を対象に奨励金を交付しました。

太陽光発電設備：20件、木質バイオマスストーブ：1件、ガスエンジンコージェネレーション：11件

・COOL CHOICEの取組み

・啓発ポスターの作成：3回

・市内フリーペーパー広告掲載

・公用車車体広告

・市内集客イベントへのブース出展による啓発：5回

・エコバス、エコタクシー車体広告

・イベント（環境・エネルギー展）の開催、うちエコ診断の実施 4回

